



# 第12回北海道交通事故対策検討委員会

---

	1. これまでの取組経緯	.....	2
審議	▶ 2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果	.....	8
審議	▶ 3. 事故危険区間の追加選定について	.....	19
審議	▶ 4. 事故危険区間の新たなフォローアップ手法の構築について	.....	26
報告	▶ 5. 生活道路の対策エリアの検討状況について	.....	30
	6. 今後の予定	.....	37

A light gray map of Hokkaido, Japan, showing its regional divisions. The map is positioned on the left side of the slide, partially overlapping the title text.

第12回北海道交通事故対策検討委員会

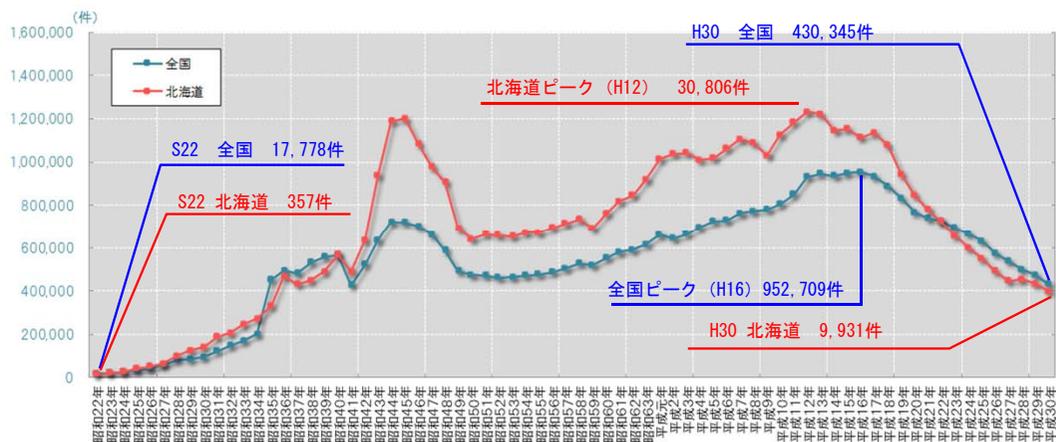
# 1. これまでの取組経緯

---

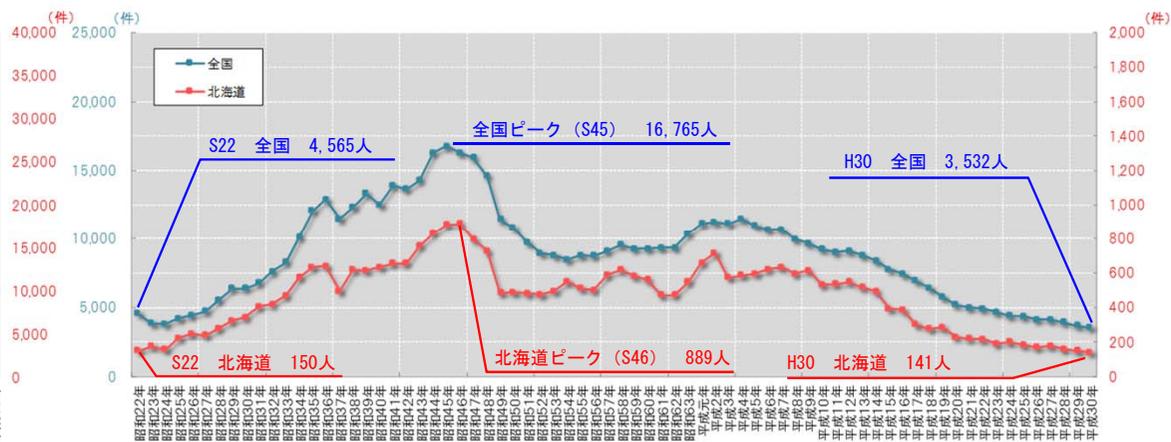
1. これまでの取組経緯

1. 交通事故の推移

- ▶ 北海道における交通事故件数は、昭和40年代中頃まで急激に増加した後、交通安全対策を強化した結果、急激に減少し、その後再び増加するも、近年は全国、北海道共に減少傾向となっている
- ▶ 全国の死者数に着目すると、**平成30年は警察庁が所有する統計上、最小の死者数**となっている
- ▶ しかし、北海道内では依然として141人の尊い命が犠牲となっており、**未だに深刻な状況が続いている**



【死傷事故件数の推移(昭和22年～平成30年)】



【死者数の推移(昭和22年～平成30年)】

(単位：人)

ランク	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1位	愛知 593	北海道 585	北海道 595	北海道 619	北海道 632	北海道 595	北海道 613	北海道 533	北海道 536	北海道 548	北海道 516	北海道 493	愛知 428	愛知 435	愛知 407	愛知 389	愛知 326	愛知 318	愛知 281	愛知 256	愛知 276	愛知 235	愛知 219	愛知 204	愛知 213	愛知 212	愛知 200	愛知 189
2位	北海道 573	愛知 574	愛知 556	愛知 527	愛知 517	兵庫 497	千葉 464	愛知 426	千葉 422	愛知 450	愛知 413	愛知 468	北海道 391	北海道 387	埼玉 322	北海道 277	北海道 286	埼玉 232	北海道 218	北海道 215	東京 215	北海道 200	兵庫 187	神奈川 185	大阪 196	千葉 185	埼玉 177	千葉 186
3位	大阪 550	千葉 544	千葉 553	兵庫 490	兵庫 482	千葉 465	愛知 444	千葉 404	埼玉 410	千葉 416	千葉 390	千葉 379	埼玉 369	千葉 332	千葉 305	千葉 266	東京 269	北海道 228	埼玉 207	東京 215	埼玉 207	埼玉 200	千葉 186	千葉・兵庫 182	千葉 180	大阪 161	東京 164	埼玉 175
														4位 北海道 302						6位 北海道 190		4位 北海道 184	7位 北海道 169	5位 北海道 177	5位 北海道 158	8位 北海道 148	8位 北海道 141	

【都道府県別の交通事故死者数の推移】

出典：警視庁・北海道警察

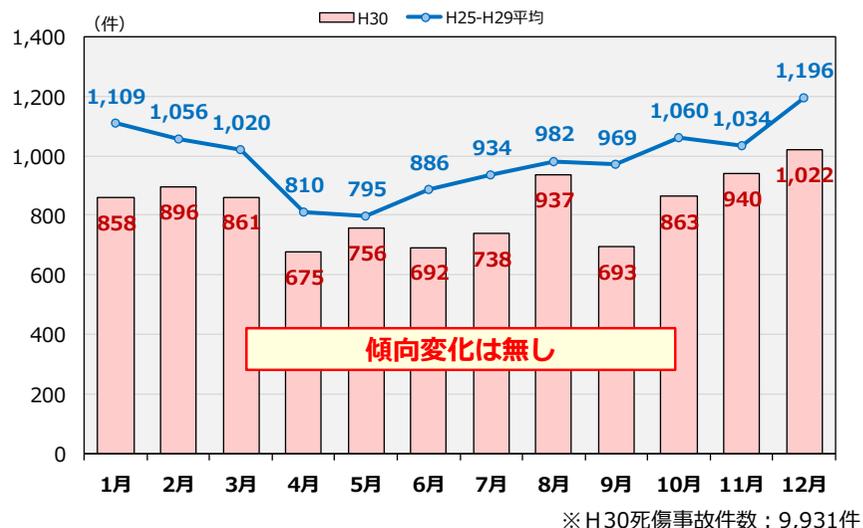
※H30は速報値

1. これまでの取組経緯

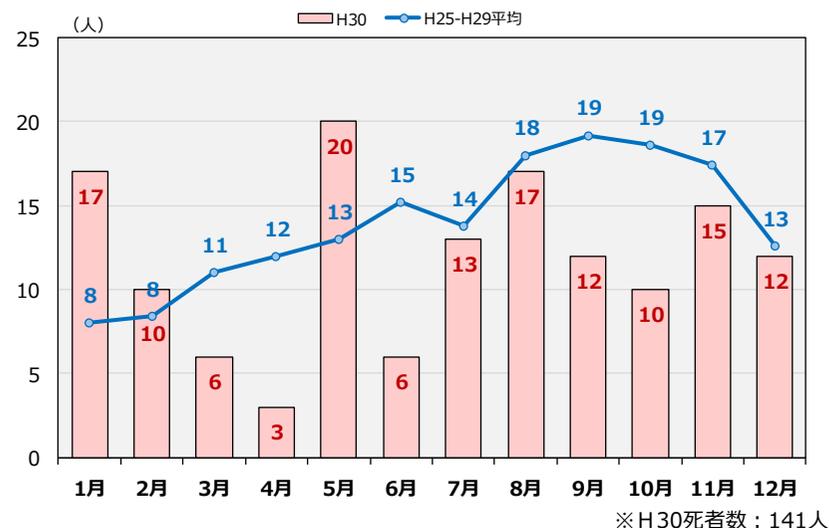
## 2. 北海道内における平成30年の交通事故発生状況

- ▶ 平成30年における月別死傷事故件数は、直近5年間の傾向と比べて大きな変化は無いが、月別死者数をみると直近5年間の傾向と比べて1月、5月の死者数が多い
- ▶ また、直近5年間の事故類型別死者数と比較すると、平成30年は正面衝突による死者数の割合が多い傾向

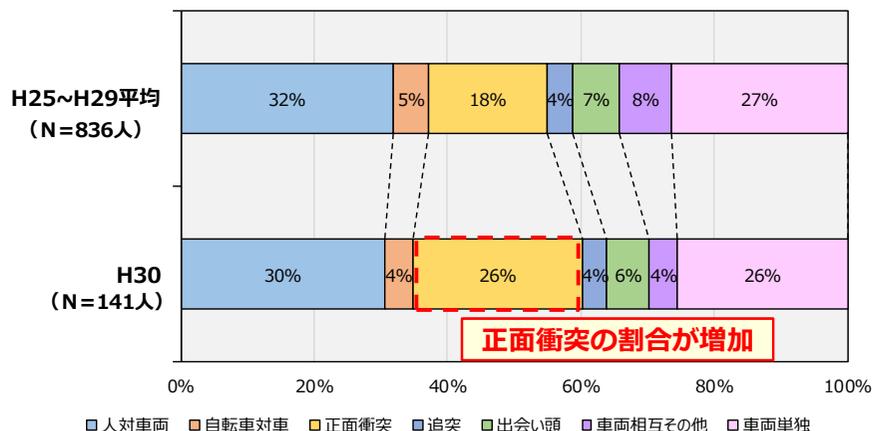
▼月別死傷事故件数



▼月別死者数



▼事故類型別死者割合



1. これまでの取組経緯

3. これまでの取組経緯

- ▶ 北海道交通事故対策検討委員会は、平成22年11月に第1回委員会が開催され、これまでに計11回開催
- ▶ 委員会では、主に事故危険区間の選定やフォローアップに関して審議

あらかし

- 平成22年度より、地域固有の課題や地域の声を反映した事故ゼロプランの取組を推進
- 局所的な事業(交通安全等)に対してデータ等に基づく「成果を上げるマネジメント」の取組を導入
- 北海道の国道・道道等における「事故危険区間リスト」の作成にあたり、「北海道交通事故対策検討委員会」から意見をいただいて実施
- 平成22年度、平成25年度、平成28年度に「事故データ」、「地域の声」、「ヒヤリハットデータ」より事故危険区間1,328区間を選定
- 平成26年度より、事故危険区間(「事故データ」、「地域の声」)のフォローアップ手法を検討
- 平成28年度より、対策が完了した事故危険区間計540区間(「事故データ」、「地域の声」)のフォローアップ(中間・最終評価)を実施

これまでの取組経緯

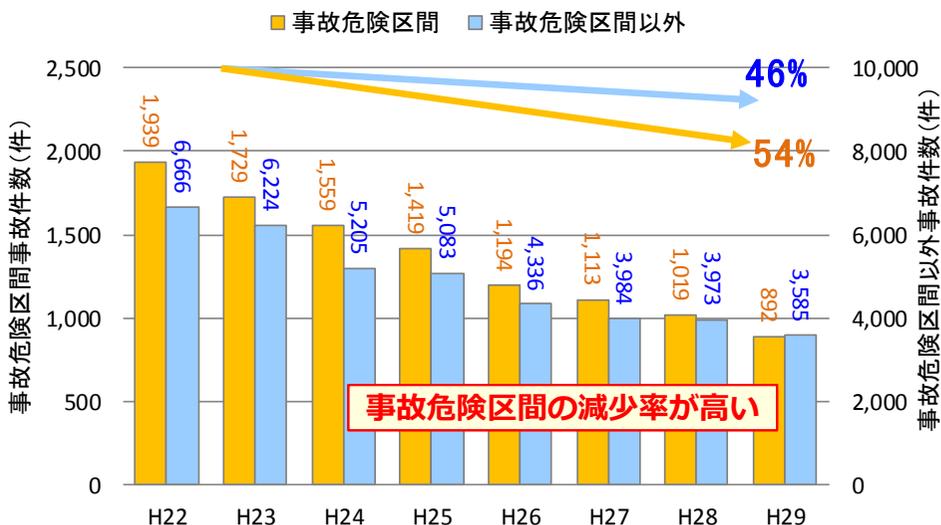


1. これまでの取組経緯

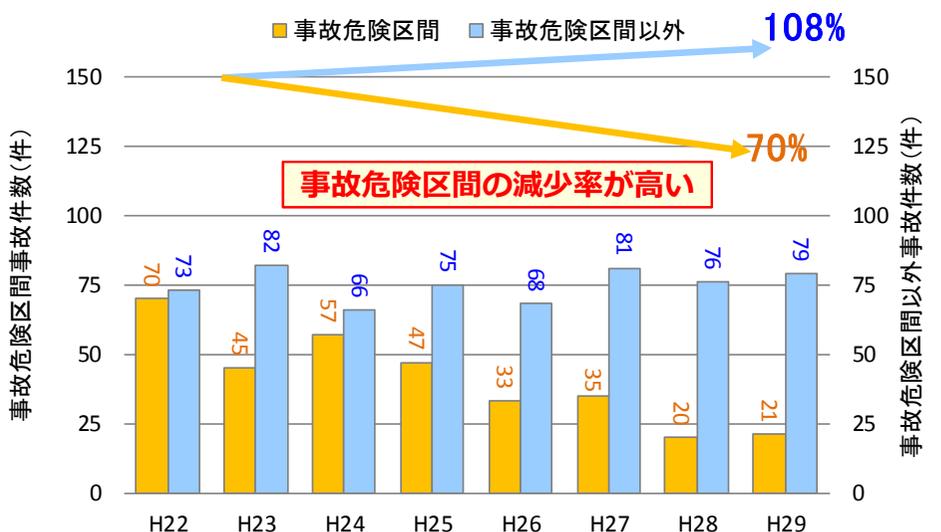
# 4. 事故ゼロプラン推進による効果

- 事故ゼロプランの推進により、**事故危険区間以外と比べ事故危険区間では死傷・死亡事故件数の減少率が高い**
- また、主な事故類型毎の減少率をみても、**北海道全体と比べ事故危険区間では事故件数の減少率が高い**

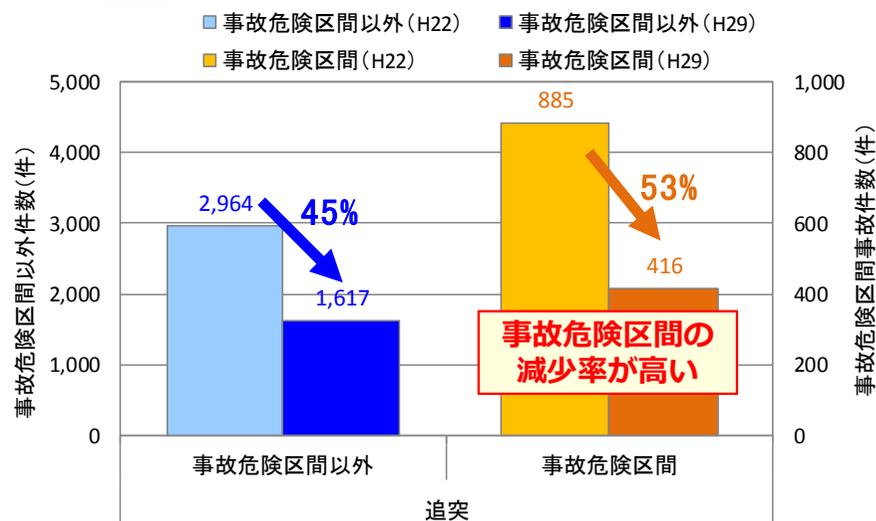
▼死傷事故件数の推移



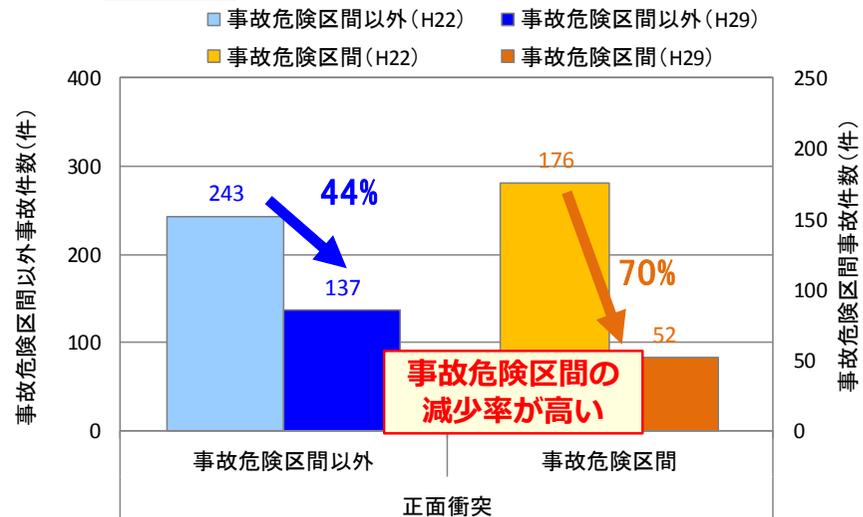
▼死亡事故件数の推移



▼「追突」事故件数の推移



▼「正面衝突」事故件数の推移



資料：イタルダデータ(ITARDA区間を有する全道路で集計)  
※事故危険区間は、H22・H25・H28選定区間(N=1,328区間)を対象

## 5. 本日の報告・審議事項

▶ 第12回委員会では、以下事項について、報告及び審議を実施

項目		主な報告及び審議事項	
2.	平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果について	審議	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事故危険区間のうち、対策が完了した区間のフォローアップ（中間・最終評価）結果について審議</li> </ul>
3.	事故危険区間の追加選定について	審議	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成31年度に予定する事故危険区間の追加選定候補について審議</li> </ul>
4.	事故危険区間の新たなフォローアップ手法の構築について	審議	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成28年度に選定された「ヒヤリハットデータ」に基づく選定区間のフォローアップ手法構築について審議</li> <li>● 交通安全事業以外の対策を行った区間のフォローアップ手法の構築について審議</li> </ul>
5.	生活道路の対策エリアの検討状況について	報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録済みの生活道路対策エリアにおける検討状況を報告</li> </ul>

第12回北海道交通事故対策検討委員会

審議

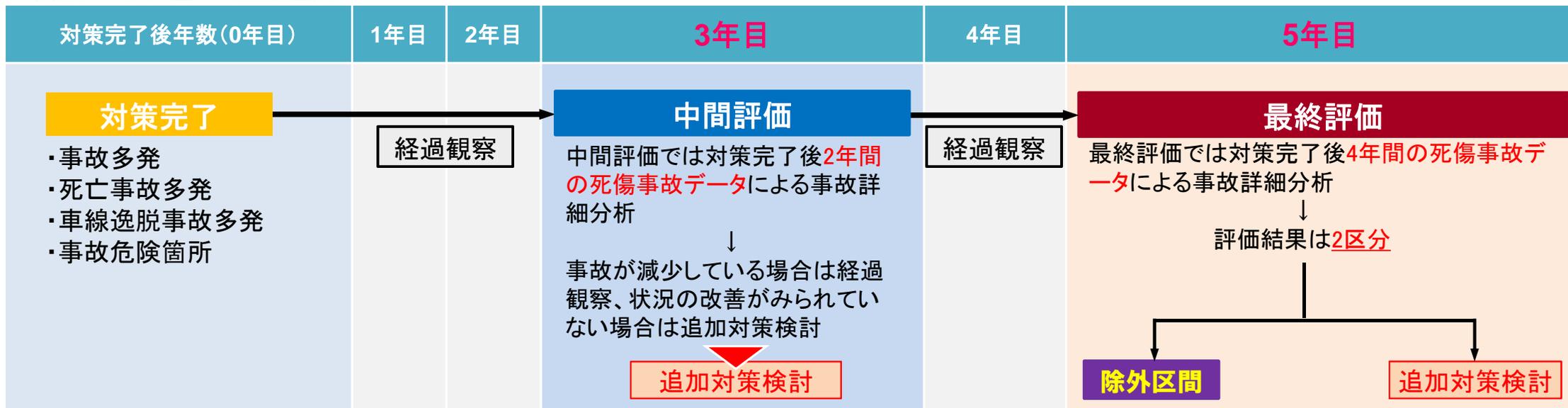
## 2. 平成30年度の事故危険区間 のフォローアップ結果

2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

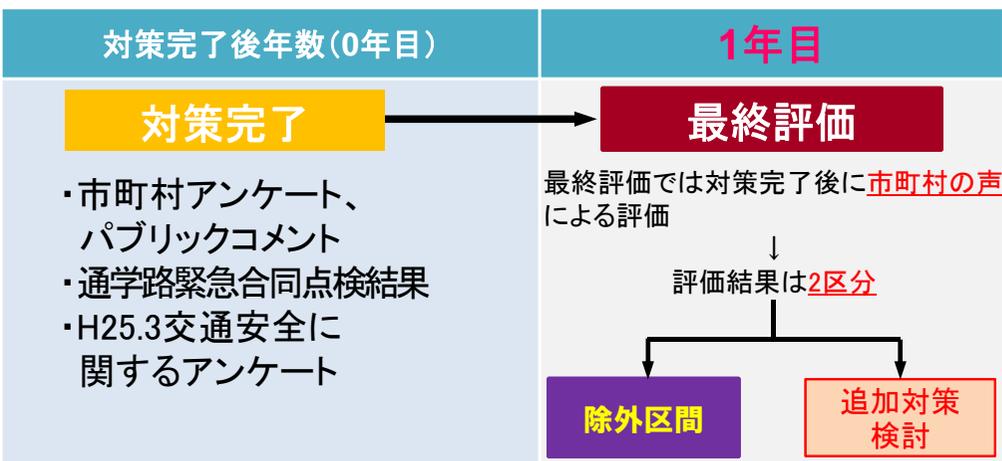
1. 事故危険区間のフォローアップの流れ(第11回委員会までのおさらい)

▶ 事故危険区間のフォローアップでは、選定方法に応じ、以下の流れで評価を実施

▼事故データに基づく選定区間

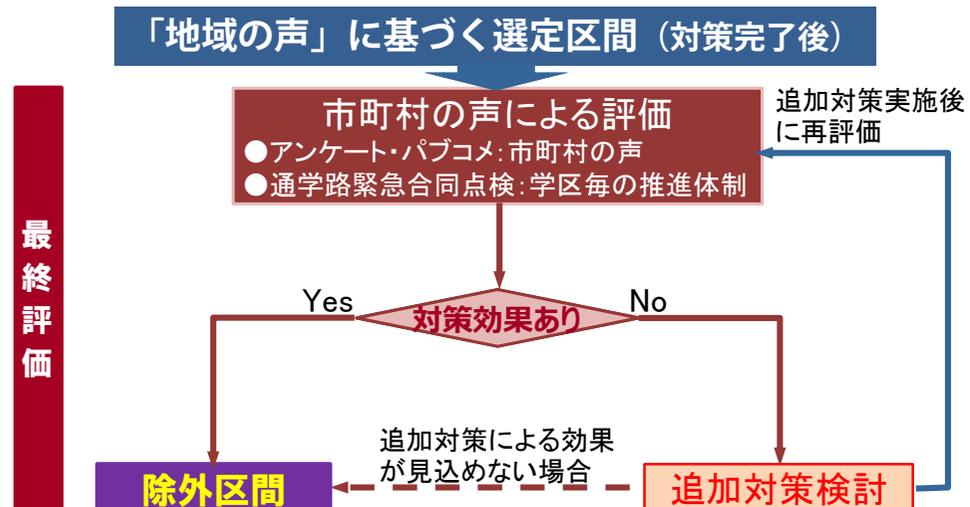
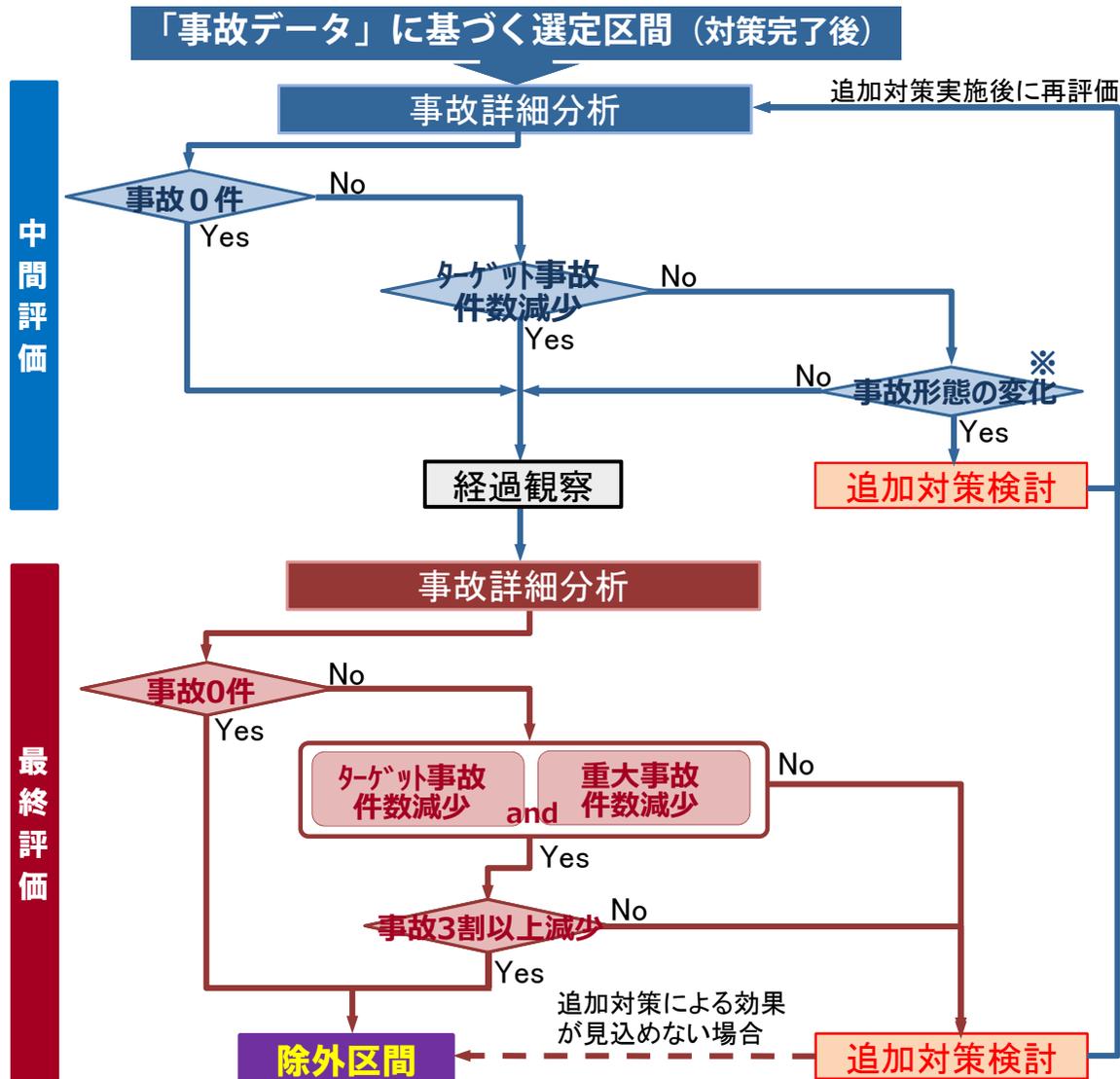


▼地域の声に基づく選定区間



## 2. 事故危険区間のフォローアップ手法(第11回委員会までのおさらい)

➤ 選定方法別のフォローアップ手法は、以下のフローの通り



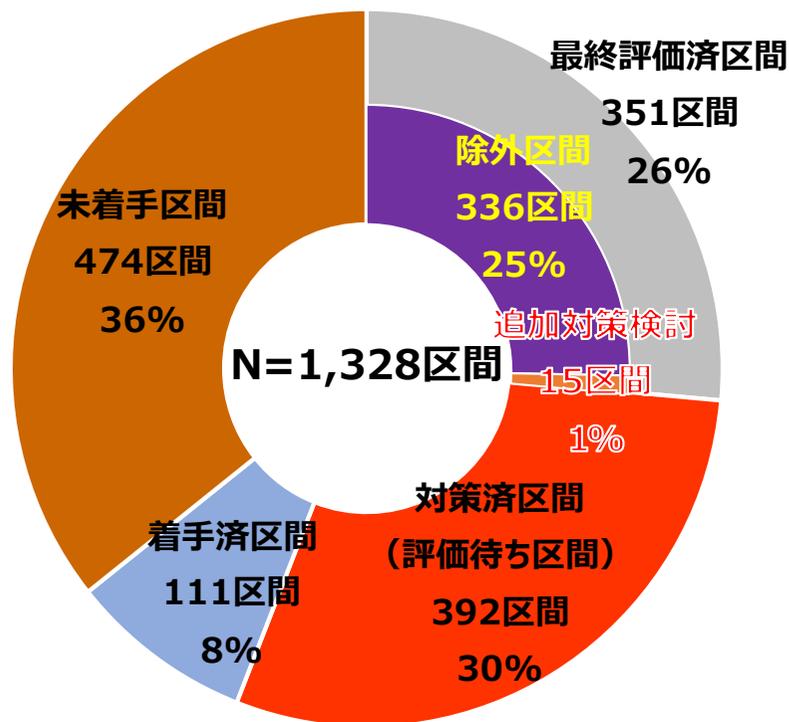
※ 大幅な周辺状況の変化等により、事故形態の変化があった場合

2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

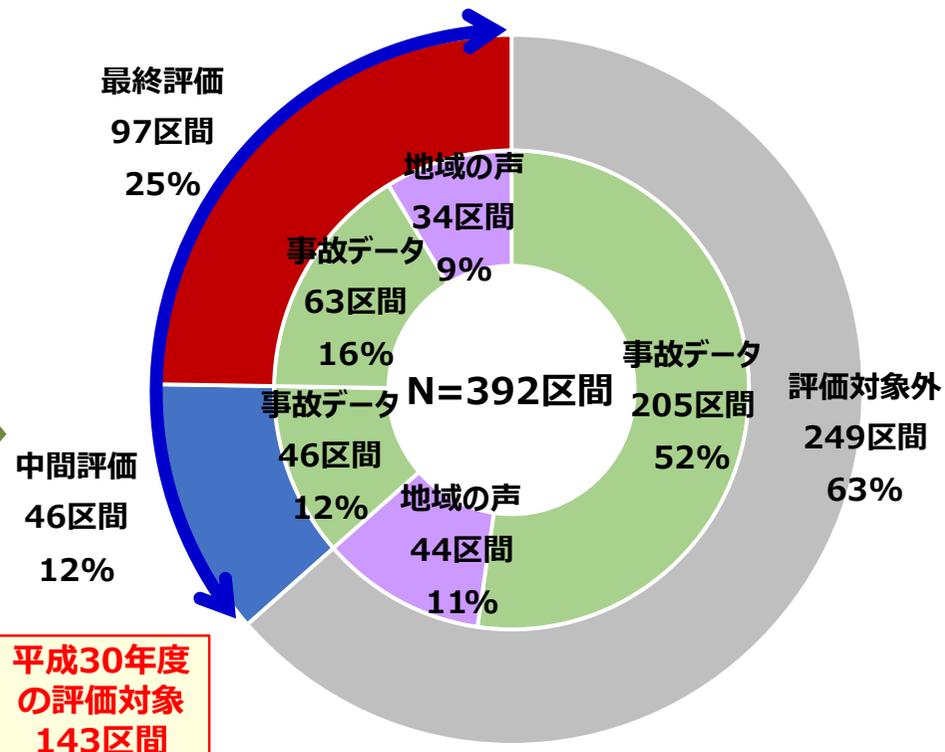
3. 事故危険区間の対策実施状況と評価対象区間

- ▶ 平成31年3月時点において、最終評価済区間は351区間(うち除外区間は336区間、追加対策検討区間は15区間)、対策済区間(評価待ち区間)は392区間、着手済区間は111区間、未着手区間は474区間の計1,328区間
- ▶ うち、平成30年度に評価対象となる区間は143区間であり、**中間評価が46区間、最終評価が97区間**

▼事故危険区間の対策実施状況



▼フォローアップ対象区間



平成30年度  
の評価対象  
143区間

対策済区間  
(評価待ち区間)  
392区間の  
内訳は...

評価済区間	これまでの委員会において最終評価を実施した区間 (追加対策検討と評価された16区間のうち1区間は着手済みのため除く)
対策済区間 (評価待ち区間)	H30迄に対策が完了し、フォローアップを控えている区間 (完了予定含む、評価済区間除く)
着手済区間	H30迄に対策に着手し、現在対策実施中の区間
未着手区間	H30迄に対策に着手していない区間

評価対象外	「事故データ」に基づく選定区間の内、今年度中間評価及び最終評価に該当しない区間
中間評価	「事故データ」に基づく選定区間で対策完了後3年目を迎える区間
最終評価	「事故データ」に基づく選定区間で対策完了後5年目を迎える区間 「地域の声」に基づく選定区間でH29迄に対策完了した区間

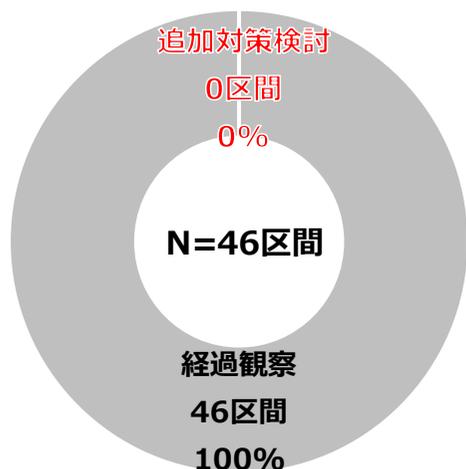
2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

4. 評価結果の概要

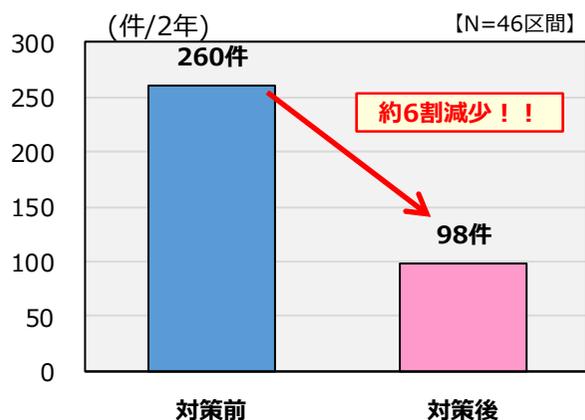
- 中間評価結果は、46区間のうち全区間が経過観察(対策前後で事故件数は約6割減少)
- 最終評価結果は、97区間のうち95区間が除外区間、2区間が追加対策検討(対策前後で事故件数は約5割減少)

▼ 中間評価結果

《「事故データ」に基づく選定区間》



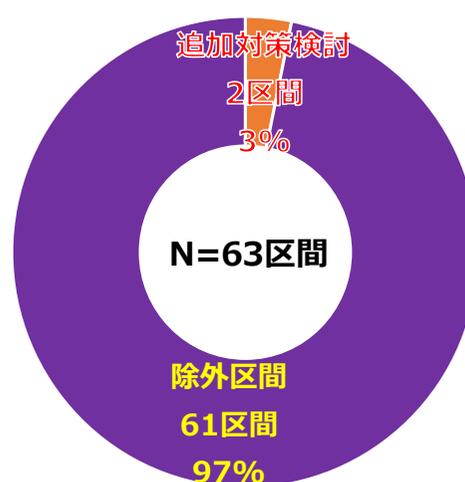
《事故件数の変化》



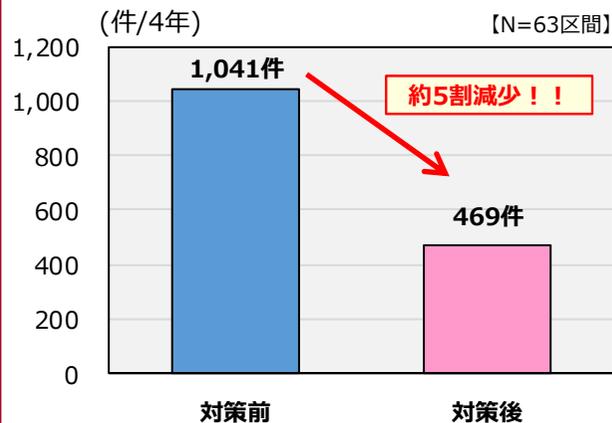
※対策前4年間(2年換算値)と対策後2年間で比較  
※国道: 38区間、地方道: 8区間

▼ 最終評価結果

《「事故データ」に基づく選定区間》



《事故件数の変化》



※対策前4年間と対策後4年間で比較  
※国道: 60区間、地方道: 3区間

《「地域の声」に基づく選定区間》



2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

5. 中間評価事例(事故データ) No.176 国道37号 室蘭市東町1丁目交差点

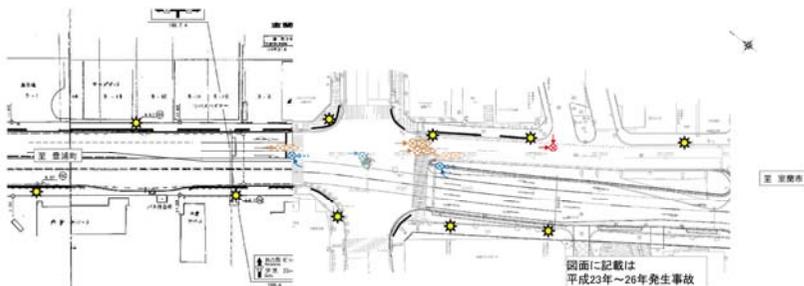
選定理由	事故多発	対策完了年度	平成27年度	ターゲット事故	・追突 ・人対車両	対策内容	交差点のコンパクト化、左折車線の廃止(歩道化)、すべり止めカラー舗装、右折車線設置、路面表示
------	------	--------	--------	---------	--------------	------	--

結果

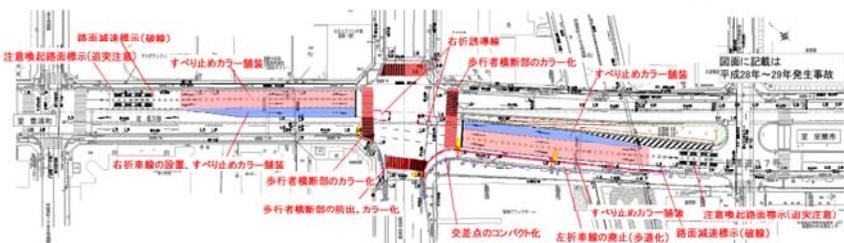
経過観察

対策前後の事故危険区間詳細図

《対策前H23-H26》



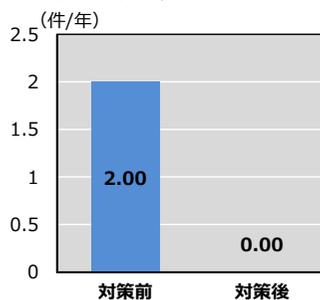
《対策後H28-H29》



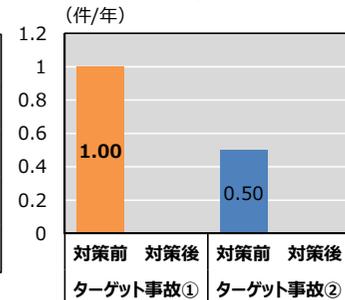
- 人対車両
- 出会い頭
- 正面衝突
- 追突
- 右折時
- 左折時
- 工作物衝突
- 進路変更時
- すれ違い時
- その他

事故詳細分析

■ 事故件数 (件/年)



■ ターゲット事故 (件/年)



■ 事故形態の変化

- 人対車両
- 出会い頭
- 正面衝突
- 追突
- 右左折時
- 工作物衝突
- その他

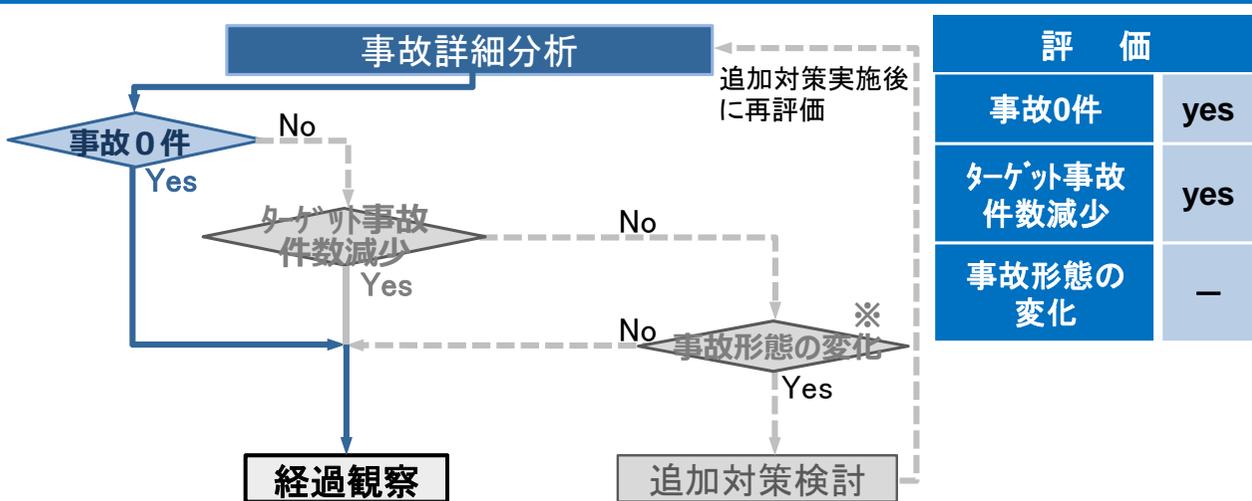
事故件数	対策前	対策後
	8件/4年	0件/2年

ターゲット事故	対策前	対策後
①追突	4件/4年	0件/2年
②人対車両	2件/4年	0件/2年

→ 事故100%減少

→ ターゲット事故100%減少

フォローアップ結果



評価	
事故0件	yes
ターゲット事故件数減少	yes
事故形態の変化	-

※ 大幅な周辺状況の変化等により、事故形態の変化があった場合

2. 事故危険区間のフォローアップについて

6. 最終評価事例(事故データ) No.336 国道241号 帯広市西18条北2丁目16

選定理由	事故多発	対策完了年度	平成25年度	ターゲット事故	・追突 ・右左折時	対策内容	すべり止めカラー舗装、減速路面標示 方向路面標示
------	------	--------	--------	---------	--------------	------	-----------------------------

結果

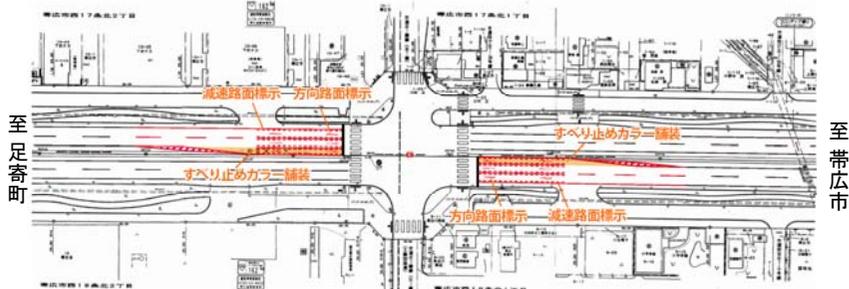
除外区間

対策前後の事故危険区間詳細図

《対策前H19-H22》

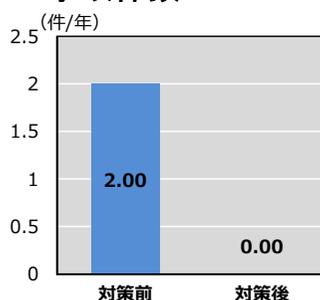


《対策後H26-H29》

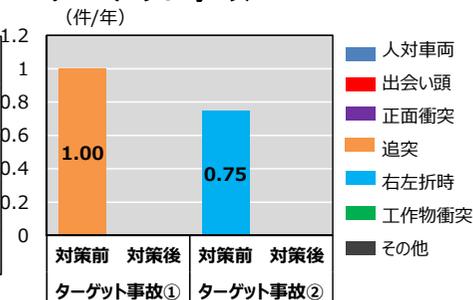


事故詳細分析

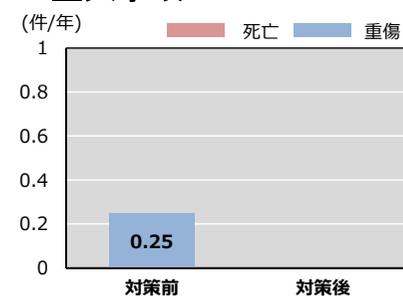
■事故件数 (件/年)



■ターゲット事故 (件/年)



■重大事故 (件/年)



事故件数	対策前	対策後
①追突	4件/4年	0件/4年
②右左折時	3件/4年	0件/4年

ターゲット事故①	対策前	対策後
①追突	4件/4年	0件/4年
ターゲット事故②	対策前	対策後
②右左折時	3件/4年	0件/4年

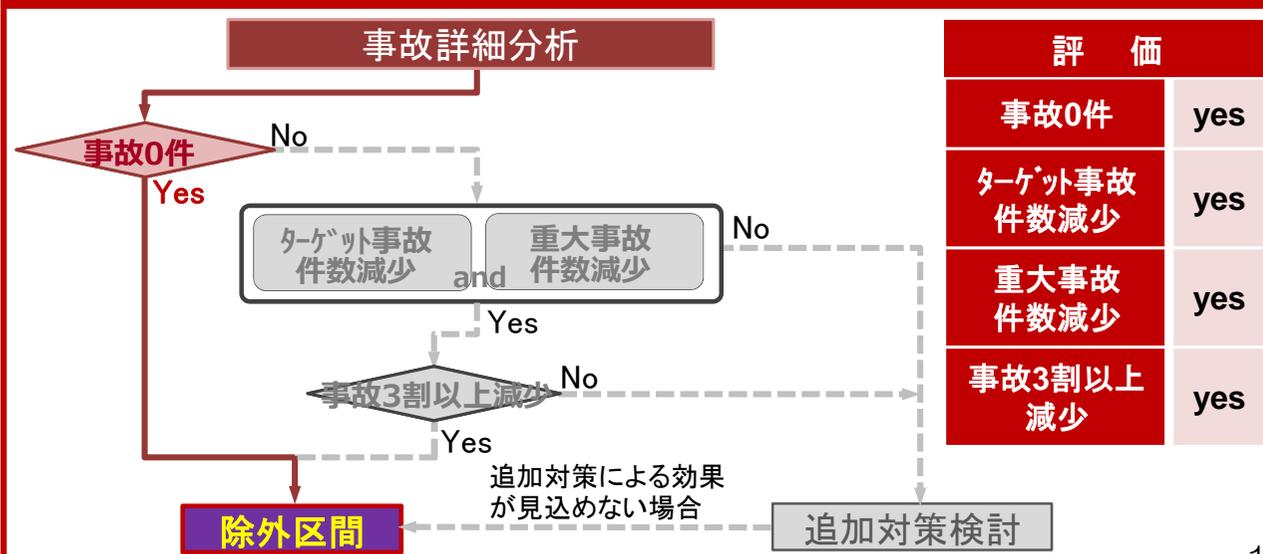
死亡	対策前	対策後
死亡	0件/4年	0件/4年
重傷	対策前	対策後
重傷	1件/4年	0件/4年

➡ 事故100%減少

➡ ターゲット事故100%減少

➡ 重大事故発生

フォローアップ結果



評価	
事故0件	yes
ターゲット事故件数減少	yes
重大事故件数減少	yes
事故3割以上減少	yes

2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

6. 最終評価事例(事故データ) No.277 国道231号 増毛町舎熊366～留萌市沖見町3丁目

選定理由	事故多発	対策完了年度	平成25年度	ターゲット事故	・追突 ・正面衝突	対策内容	滑り止め舗装
------	------	--------	--------	---------	--------------	------	--------

結果

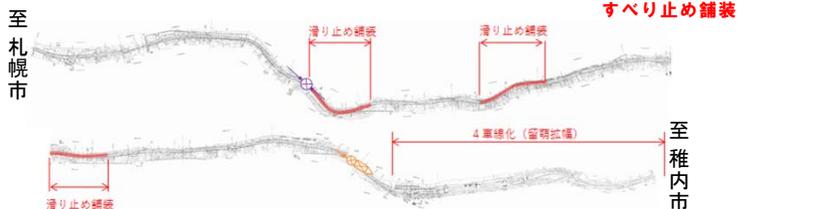
除外区間

対策前後の事故危険区間詳細図

《対策前H19-H22》

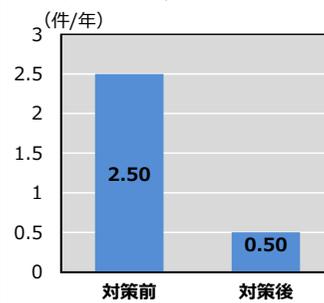


《対策後H26-H29》

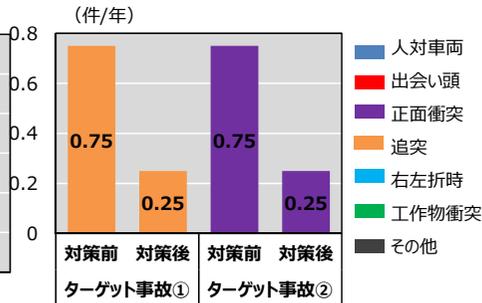


事故詳細分析

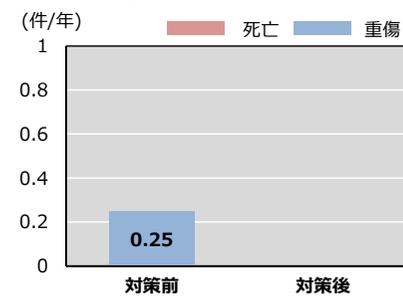
■事故件数



■ターゲット事故



■重大事故



事故件数	対策前	対策後
	10件/4年	2件/4年

ターゲット事故	対策前	対策後
①追突	3件/4年	1件/4年
②正面衝突	3件/4年	1件/4年

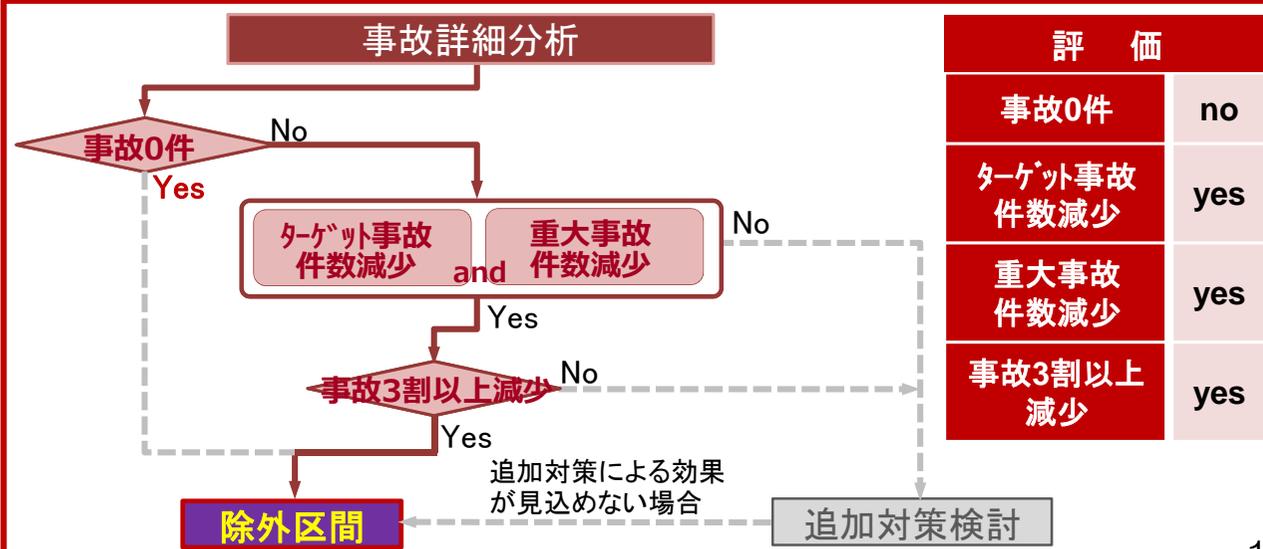
重大事故	対策前	対策後
死亡	0件/4年	0件/4年
重傷	1件/4年	0件/4年

➡ 事故80%減少

➡ ターゲット事故70%減少

➡ 重大事故は未発生

フォローアップ結果



評価	
事故0件	no
ターゲット事故件数減少	yes
重大事故件数減少	yes
事故3割以上減少	yes

2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

6. 最終評価事例(事故データ) No.54 国道5号 札幌市西区八軒10条西11丁目3

選定理由	事故多発	対策完了年度	平成25年度	ターゲット事故	・右左折時 ・追突	対策内容	滑り止め舗装、路面標示(追突注意)
------	------	--------	--------	---------	--------------	------	-------------------

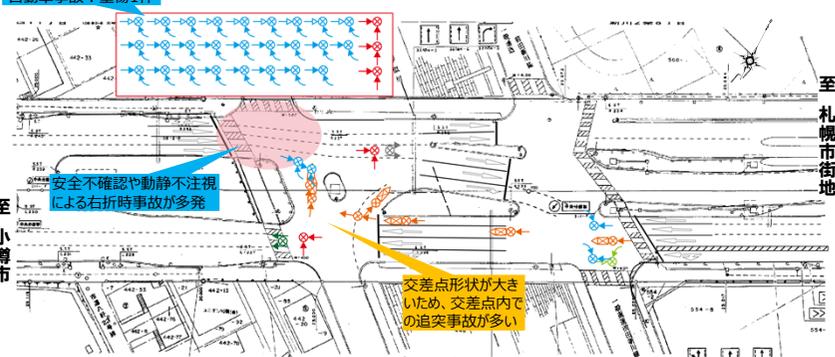
結果

追加対策検討

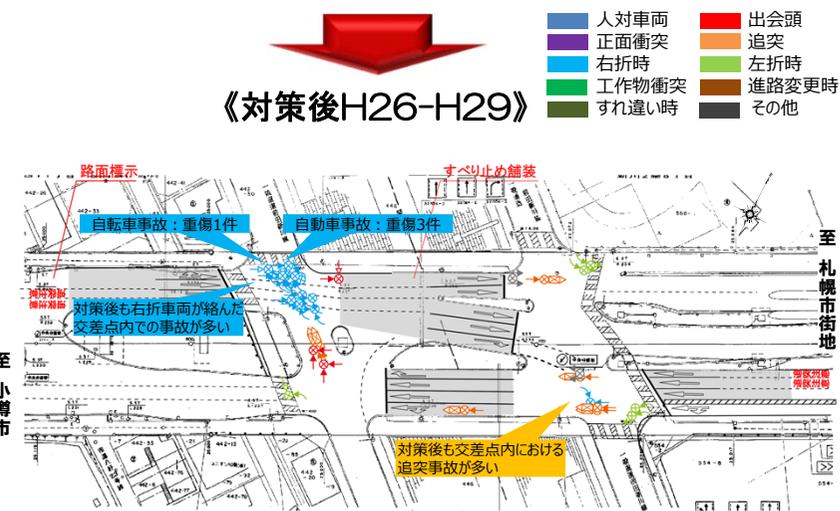
対策前後の事故危険区間詳細図

《対策前H19-H22》

自転車事故：重傷3件  
自動車事故：重傷1件



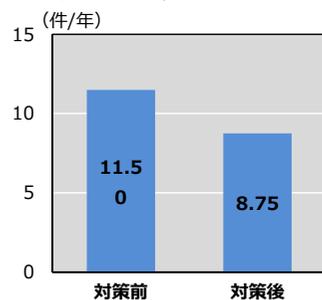
《対策後H26-H29》



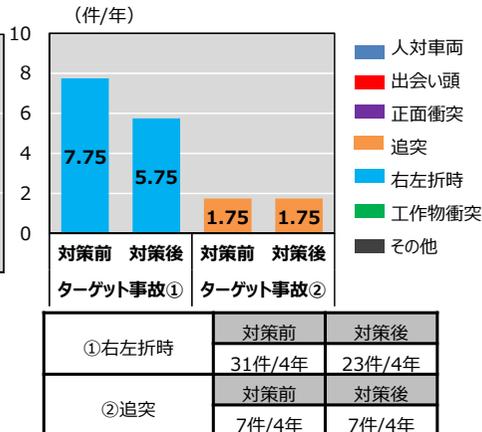
- 人対車両
- 出合い頭
- 正面衝突
- 追突
- 右折時
- 左折時
- 工作物衝突
- 進路変更時
- すれ違い時
- その他

事故詳細分析

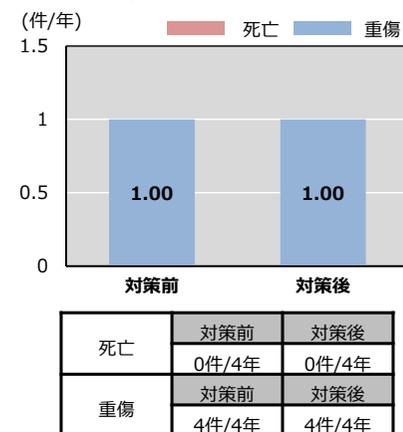
■ 事故件数 (件/年)



■ ターゲット事故 (件/年)



■ 重大事故 (件/年)

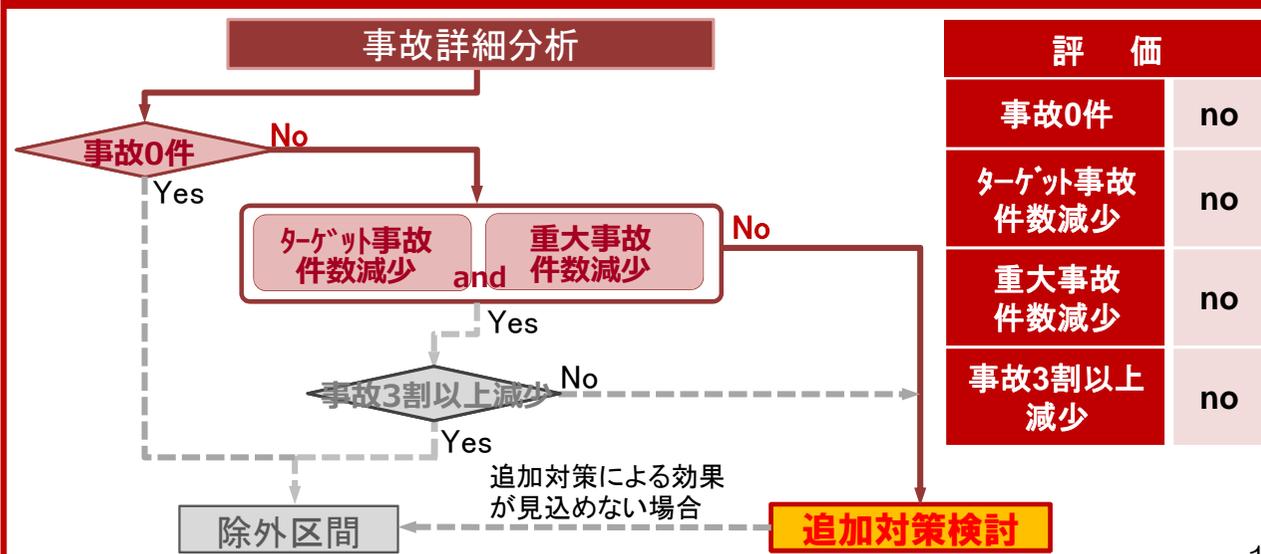


➡ 事故24%減少

➡ ターゲット事故②変化なし

➡ 重大事故変化なし

フォローアップ結果



2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

6. 最終評価事例(事故データ) No.60 国道5号 札幌市北区北24条西2丁目2

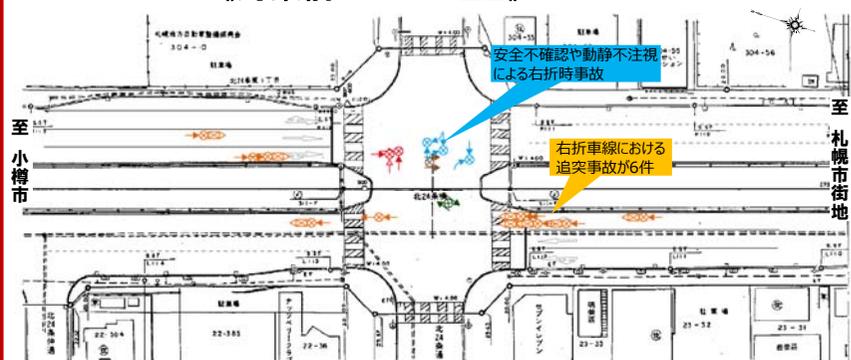
選定理由	事故多発	対策完了年度	平成25年度	ターゲット事故	・追突 ・右左折時	対策内容	滑り止め舗装、減速路面標示、交差点中心標示、路面標示（追突注意）
------	------	--------	--------	---------	--------------	------	----------------------------------

結果

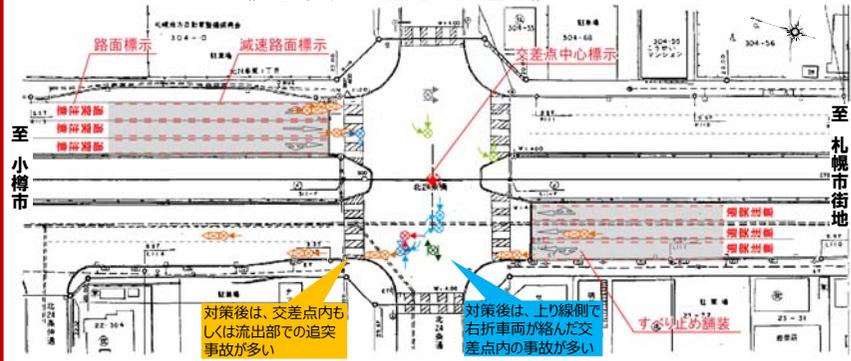
追加対策検討

対策前後の事故危険区間詳細図

《対策前H19-H22》



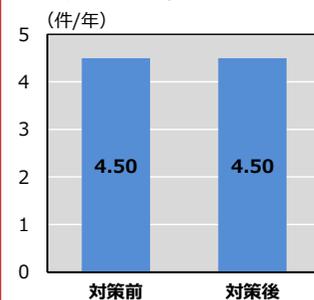
《対策後H26-H29》



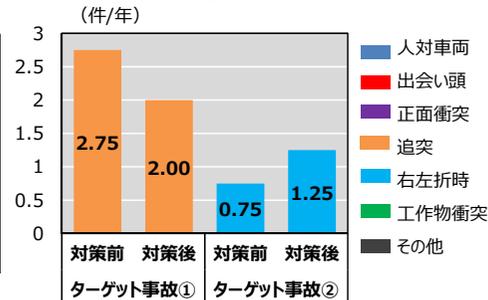
- 人対車両
- 出会い頭
- 正面衝突
- 追突
- 右折時
- 左折時
- 工作物衝突
- 進路変更時
- すれ違い時
- その他

事故詳細分析

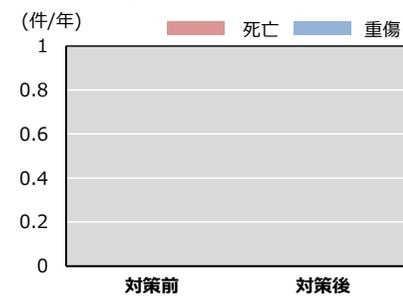
■ 事故件数



■ ターゲット事故



■ 重大事故



事故件数	対策前	対策後
18件/4年	18件/4年	18件/4年

ターゲット事故	対策前	対策後
① 追突	11件/4年	8件/4年
② 右左折時	3件/4年	5件/4年

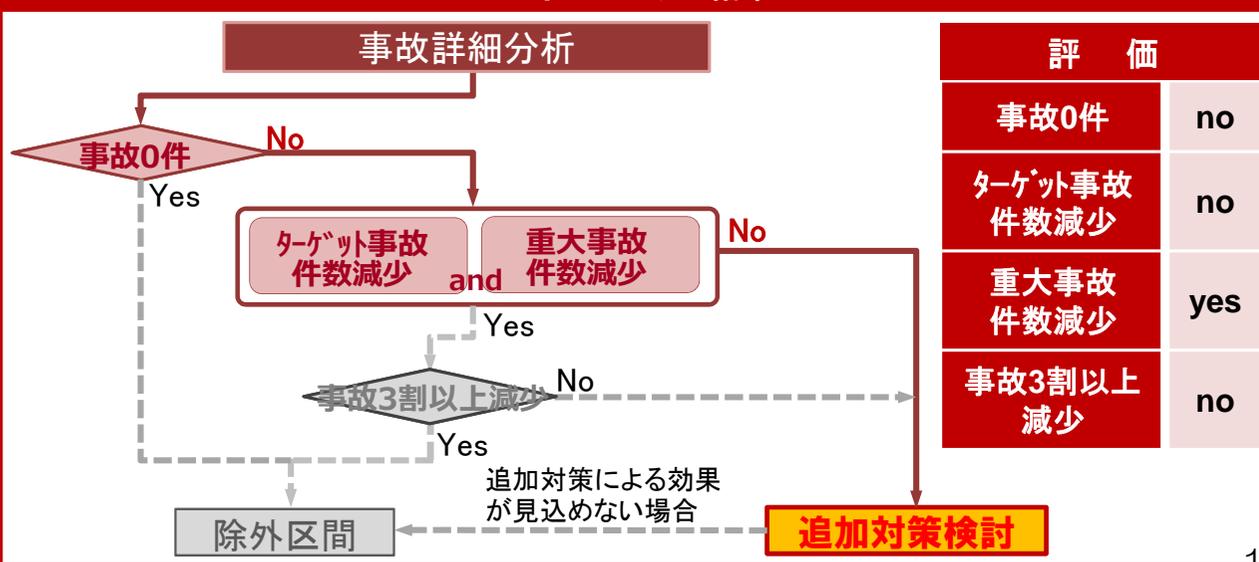
重大事故	対策前	対策後
死亡	0件/4年	0件/4年
重傷	0件/4年	0件/4年

➡ 事故変化なし

➡ ターゲット事故②増加

➡ 重大事故未発生

フォローアップ結果



2. 平成30年度の事故危険区間のフォローアップ結果

7. 最終評価事例(地域の声) No.174 国道37号 室蘭市幌萌町242

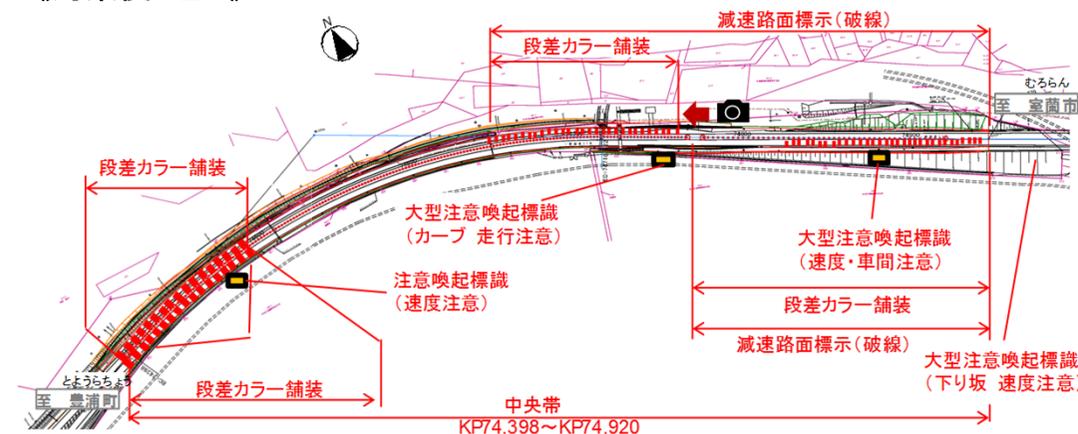
対策完了年度	平成29年度	対策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央分離帯</li> <li>段差カラー舗装</li> <li>減速路面表示</li> </ul>
--------	--------	------	--

対策前後の事故危険区間詳細図

《対策前H19-H22》



《対策後H29》



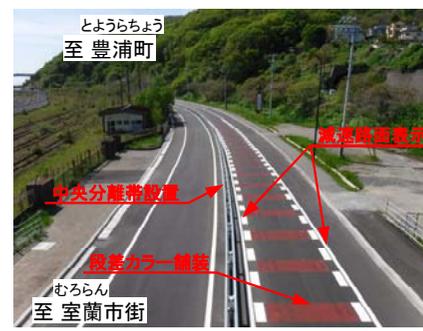
市町村の声による評価

《対策実施内容》

【対策前】



【対策後】



【対策前】地域の声

- 伊達から室蘭に向かう途中2車線から1車線に減少し道路が少しカーブになっているため速度を落とさず先急ぐ車が多いのが考えられる。

評価 効果有り

【理由】

- 当該区間にガードパイプが設置されているほか、路面表示の注意喚起や速度を抑制するための段差舗装が設置されているため。

結果

除外区間

第12回北海道交通事故対策検討委員会

審議

### 3. 事故危険区間の追加選定について

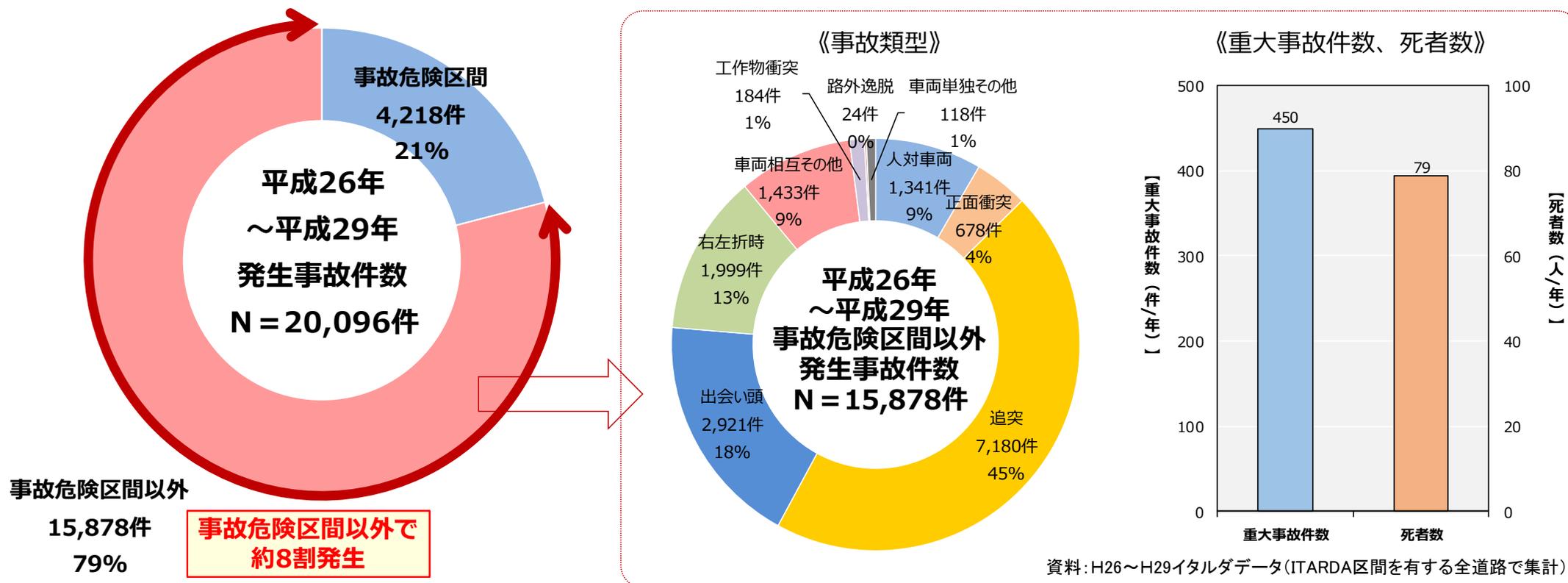
---

### 3. 事故危険区間の追加選定について

## 1. 事故危険区間の追加選定の必要性

- 平成26年～平成29年に北海道内の全ITARDA区間で発生した事故件数20,096件のうち、**事故危険区間以外で発生している事故件数は15,878件であり全体の約8割**
- これら事故危険区間以外で発生している事故の内訳をみると、正面衝突等の致死率の高い事故類型が多数発生しており、**重大事故件数が450件/年、死者数が79人/年に上る**
- 事故危険区間以外で発生している事故を減らすためには、**更なる事故危険区間の追加選定が必要**

#### ▼事故危険区間以外の事故発生状況



資料：H26～H29イタルダデータ(ITARDA区間を有する全道路で集計)

資料：イタルダデータ(ITARDA区間を有する全道路で集計)  
※事故危険区間は、H22・H25・H28選定区間(N=1,328区間)を対象

3. 事故危険区間の追加選定について

## 2. 事故危険区間選定基準に基づく追加選定候補箇所の抽出

- 事故データに基づく選定は、選定基準に基づき **新たな追加候補区間を抽出した結果、計14区間を抽出**
  - ヒヤリハットデータに基づく選定は、後述するデータ取得のバラつきなどの課題を踏まえ **選定基準を見直し、新たな追加選定候補区間を抽出して、個別に急ブレーキ発生要因を分析した上で追加選定を予定**
  - 地域の声に基づく選定は、**道路利用者WEBアンケートを来年度実施し、道路利用者の意見を踏まえ追加選定を予定**
- **平成31年度に正式に追加選定を予定**

### ▼事故危険区間の選定基準

#### 《事故データに基づく選定》

	選定基準
事故多発	死傷事故率300件/億台 <sup>※</sup> 以上 かつ 死傷事故10件以上発生
死亡事故多発	【郊外部単路】 死亡事故率1件/億台 <sup>※</sup> 以上 かつ 死亡事故2件以上発生 【市街部・郊外部交差点】 死亡事故率1件/億台 <sup>※</sup> 以上 かつ 死亡事故1件を含む重大事故2件以上発生
車線逸脱事故多発	郊外部単路の車線逸脱事故の死傷事故件数4.91件/人以上

データの最新の傾向を踏まえ選定基準を見直し、追加選定を予定  
(P.22~23参照)

#### 《ヒヤリハットデータに基づく選定》

	選定基準
潜在的危険区間	急ブレーキ発生頻度上位5% (分析期間 <sup>※</sup> の各年上位5%に該当) 《見直し》

※H31年度選定の際は、H28~H29の2カ年のデータを使用

#### 《地域の声に基づく選定》

	選定基準
地域の声アンケート	道路利用者WEBアンケートを基に、事故発生状況や道路構造等により個別判断

### ▼平成31年度追加選定候補区間数

選定条件		追加選定候補区間数
事故データに基づく選定	事故多発	4
	死亡事故多発	9
	車線逸脱事故多発	1
	計	14

### ▼平成31年度追加選定候補区間数

選定条件		追加選定候補区間数
ヒヤリハットデータに基づく選定	潜在的危険区間	分析中

来年度WEBアンケートを実施し、追加選定を予定  
(P.24~25参照)

3. 事故危険区間の追加選定について

3. ヒヤリハットデータに基づく選定基準の見直し①

- ▶ ETC2.0プローブデータは取得量が年々増加しているが、平成27年1年間の急ブレーキデータ(ヒヤリハットデータ)を活用し、平成28年度に選定した事故危険区間92区間について急ブレーキ発生頻度を年別にみるとバラつきがみられる状況
- ▶ 走行サンプル数の大小に関わらず急ブレーキ発生頻度のバラつきが大きい区間も確認されており、**今後の追加選定時**や**選定後のフォローアップ手法構築**において、**バラつきの考慮**が必要

▼ETC2.0プローブデータ取得状況

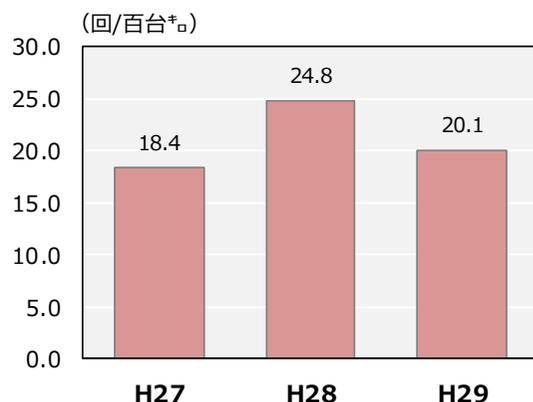
《ヒヤリハットによる選定区間(92区間)》



《全道国道》



▼急ブレーキ発生頻度の年変動



※H28選定区間(92区間)のH27~H29の各年における急ブレーキ発生頻度の平均値

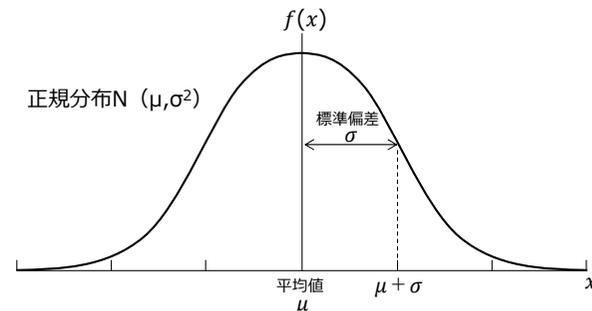
▼選定区間別のバラつきの状況(事例)

区間	走行サンプル数(回)	急ブレーキ発生頻度(回/百台*%)				標準偏差	変動係数
		H27	H28	H29	H27~H29平均		
A	71,640	15.4	13.1	13.0	13.8	1.1	0.1
B	8,402	22.0	27.6	23.8	24.5	2.3	0.1
C	27,599	12.1	97.3	66.5	58.6	35.2	0.6
D	116,320	24.6	3.3	3.0	10.3	10.1	1.0

※変動係数とは

変動係数CV = 標準偏差σ ÷ 平均値μ

平均値に対するデータとばらつきの関係を相対的に評価する際に用いる単位を持たない数値で、変動係数が小さいほどバラつきが小さいと評価出来る



走行サンプル数の大小に関わらず急ブレーキ発生頻度のバラつきが大きい区間も確認

今後の追加選定時や選定後のフォローアップ手法構築において、バラツキの考慮が必要

3. 事故危険区間の追加選定について

3. ヒヤリハットデータに基づく選定基準の見直し②

- ▶ H28年度に実施したヒヤリハットデータに基づく選定では、急ブレーキ発生頻度上位5%の区間を選定（H27年データ）
- ▶ 年変動によるバラつきも確認されており、今後定量的にフォローアップが可能な区間を選定するため、年単位で急ブレーキ発生頻度を算定し、**急ブレーキ発生頻度が各年上位5%となる区間**を新たな選定基準とし、追加選定を予定

▼ヒヤリハットデータに基づく選定基準

選定基準（平成28年度）	区間数
急ブレーキ発生頻度の上位5%	92区間



選定基準（案）（平成31年度）	候補区間数
急ブレーキ発生頻度上位5%（分析期間※の各年上位5%に該当）	分析中

※H31年度選定の際は、H28～H29の2カ年のデータを使用

▼ヒヤリハットデータに基づく選定区間の抽出フロー

ITARDA区間※毎の走行台キロあたりの急ブレーキ発生頻度を年単位で算定（H28及びH29）し、各年上位5%となる区間を抽出

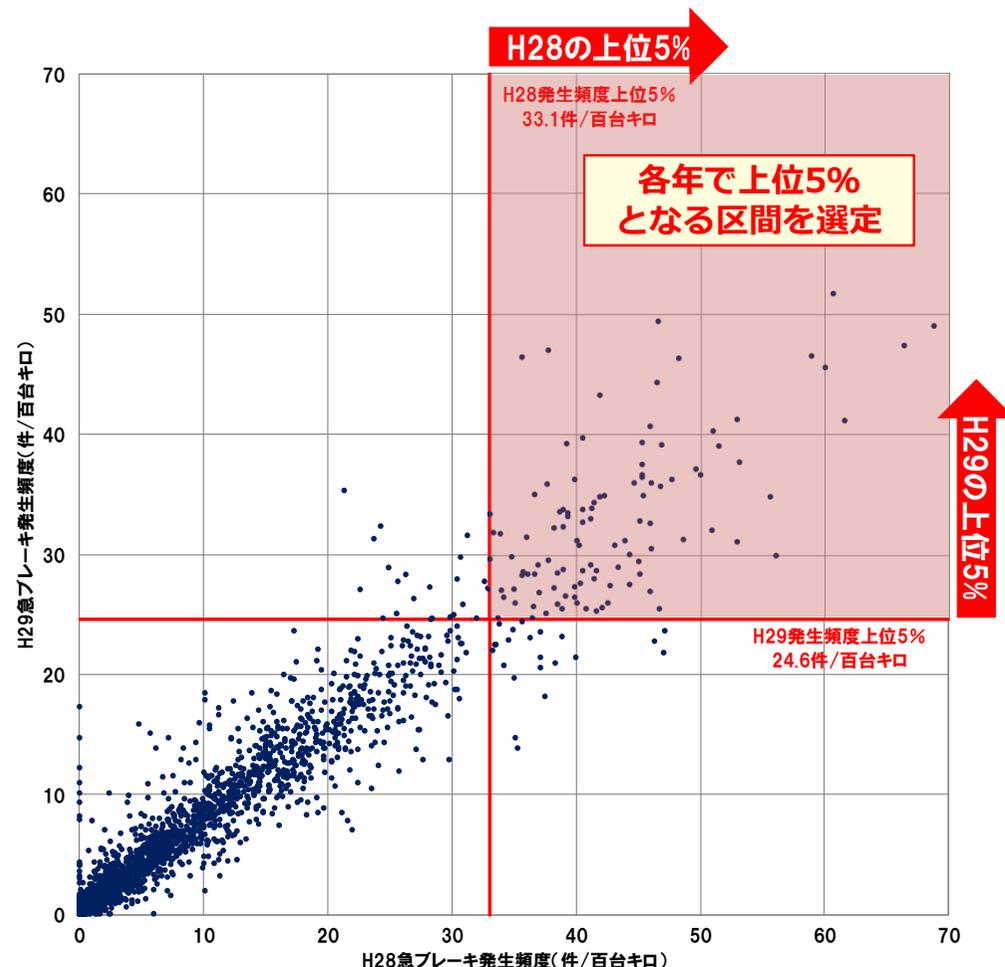
※H28～H29に事故が1件以上発生しているITARDA区間

H28及びH29の急ブレーキ発生頻度が共に上位5%となる区間を抽出

既事故危険区間との重複状況を確認し、追加選定候補区間を選定

現地状況・急ブレーキ発生要因を分析のうえ個別に起点・終点を設定し選定

▼急ブレーキ発生頻度の比較



3. 事故危険区間の追加選定について

## 4. 地域の声アンケートの実施概要

- ▶ 北海道開発局HP(事故ゼロプラン)において、日頃から交通事故の危険性が高いと感じている区間を確認するため、平成31年度にWEBアンケートを実施予定

### ▼地域の声アンケート実施概要

実施目的	道内事故危険区間の更新・追加を行うに当たり、『 <b>地域の声</b> 』に基づく選定を実施するため、 <b>日頃から交通事故の危険性が高いと感じている区間</b> を確認
実施対象	道路利用者
実施方法	○ インターネットによるアンケート調査
実施期間	平成31年4月下旬～ を予定
対象道路	○ 国道
主な設問内容	○ 危険と感じた路線名 ○ 危険と感じた区間（交差点）の位置情報 ○ 危険と感じた際の交通手段と状況 ○ 回答者属性 ○ 自由回答 など

### ▼地域の声アンケート実施画面（WEB画面）

国土交通省  
北海道開発局

## 交通安全に関するアンケート

交通安全に関する **アンケート**

**皆さんが危険と感じる箇所を教えてください。**

本アンケートは、北海道内の国道において、皆さんが交通事故の危険を感じる箇所や、早く対策を行った方がいいと感じる箇所についてのご意見をいただき、今後の交通事故対策に反映させるものです。なお、本アンケートは、交通事故対策立案の参考とさせていただきますので、アンケート内容に対する回答はいたしませんのであらかじめご了承ください。

提出いただいたご意見は、会議資料としての使用や、情報公開する場合があります。その際は、ご意見の趣旨が伝わる程度に簡略化させていただく場合がありますので、あらかじめその旨をご了承願います。

[道路利用者アンケート調査へ](#)

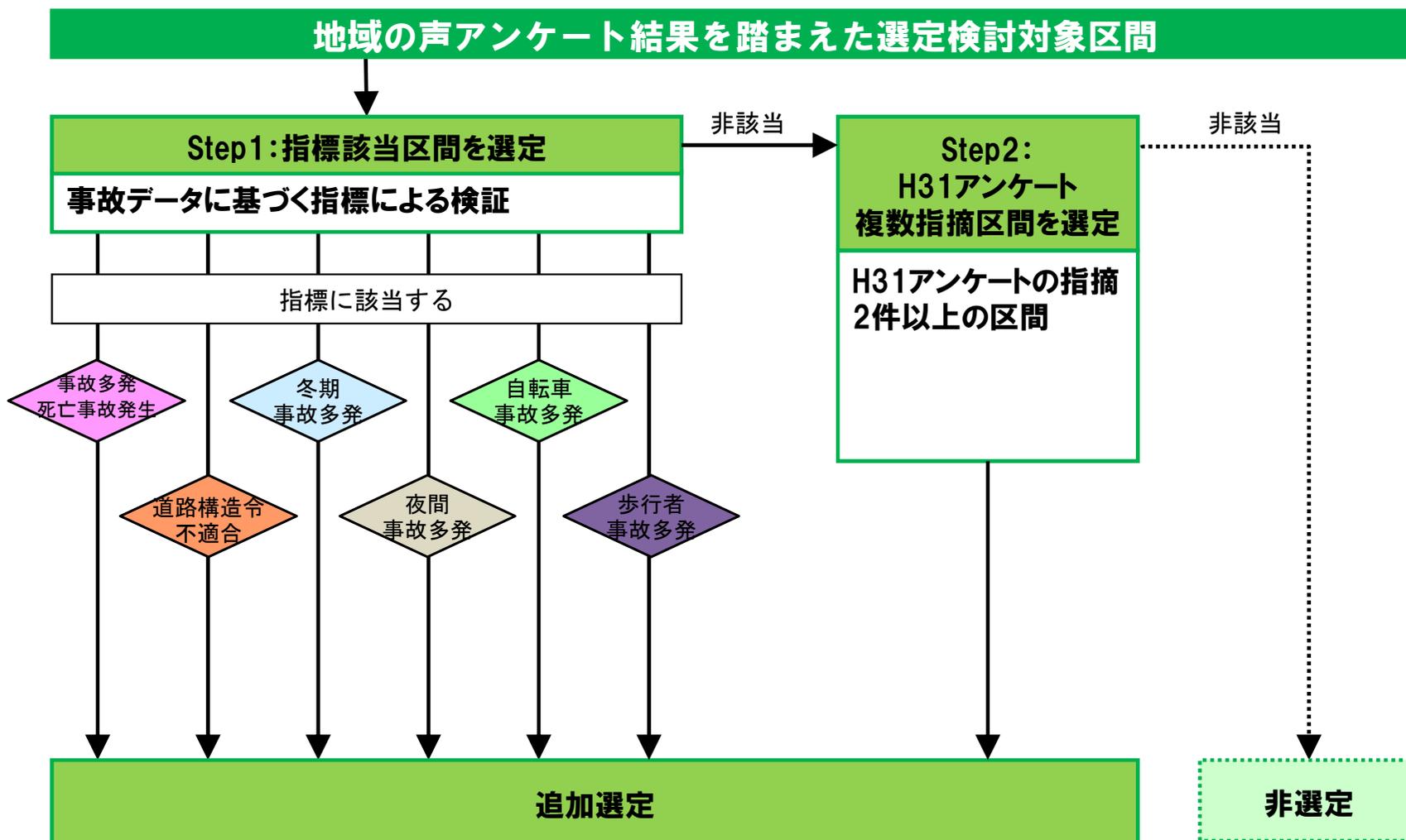
国土交通省 北海道開発局 建設部 道路維持課 交通対策係  
〒060-8511 北海道札幌市北区北8条西2丁目第1合同庁舎  
☎ 011-709-2311 (内線5964) ☎ 011-709-8956

※WEB画面は作成中につき、実際の実施画面は変更となる場合有り

3. 事故危険区間の追加選定について

## 5. 地域の声アンケートの選定過程

▶ 地域の声アンケートの選定過程については、下図に示すStep1～2に従う





第12回北海道交通事故対策検討委員会

審議

## 4. 事故危険区間の新たなフォローアップ手法 の構築について

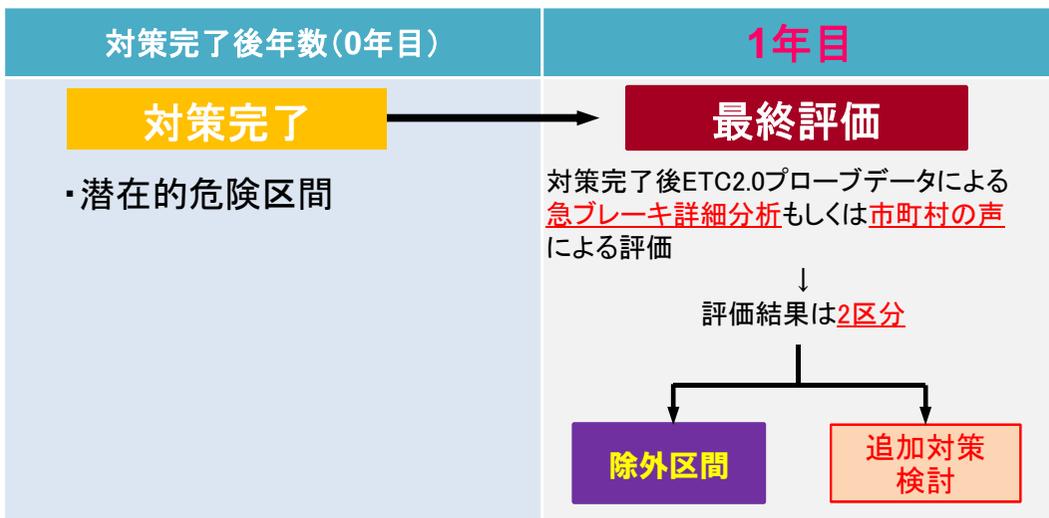
---

4. 事故危険区間の新たなフォローアップ手法の構築について

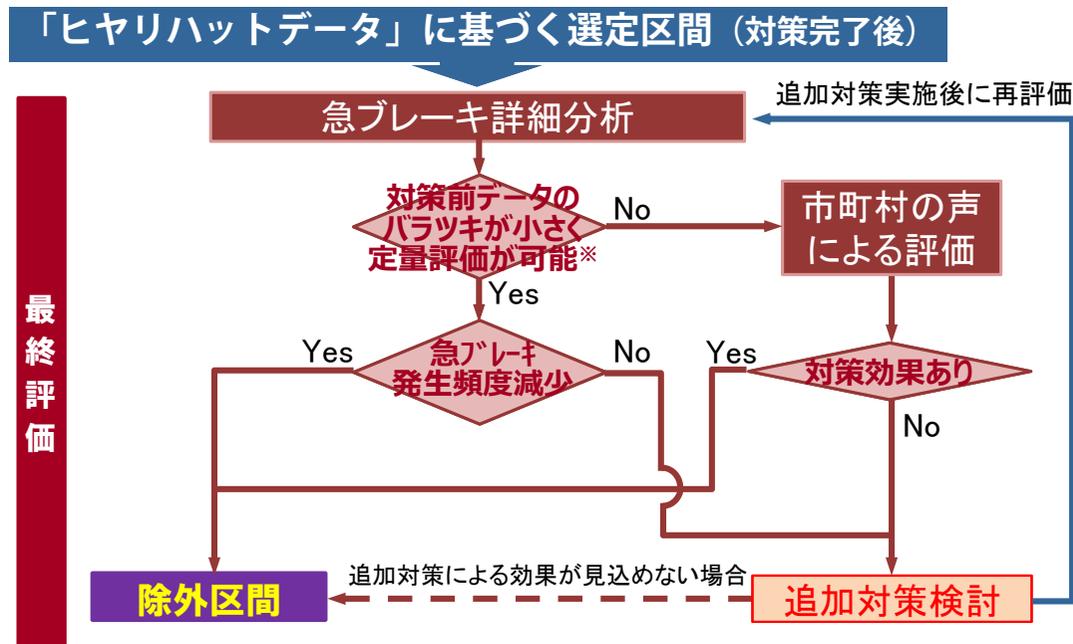
1. 「ヒヤリハットデータ」に基づく選定区間のフォローアップ手法の構築

- ▶ 「ヒヤリハットデータ」に基づく選定区間のフォローアップ手法は、選定区間別の急ブレーキ発生頻度のバラツキを踏まえた評価を対策後1年目に実施し、バラツキが大きく定量評価に適さない区間の場合は、地元自治体へのヒアリング調査から対策効果を定性的に評価

▼フォローアップまでの流れ（案）



▼フォローアップ手法（案）



4. 事故危険区間の新たなフォローアップ手法の構築について

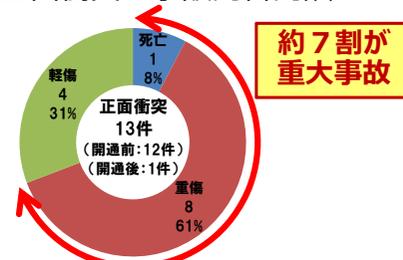
2. 交通安全事業以外で対策を行った区間のフォローアップ手法の構築①

- 事故危険区間選定以降、区間周辺において高規格幹線道路等が開通し、交通事故件数が減少している区間が存在
- 深川留萌自動車道と並行する現道では、事故危険区間No.284(H22選定)と事故危険区間No.632(H25選定)の2区間が事故危険区間に選定されているが、**留萌幌糠IC～留萌大和田IC間の延伸整備により、事故の発生件数や死傷事故率が選定当時から大きく減少**(正面衝突に着目すると、開通前が12件(1.5件/年)、開通後が1件(0.2件/年)と激減)
- **近年、交通事故が多発している区間に対する対策重点化を図るためにも、交通安全事業以外で対策を行った区間のフォローアップ手法構築が必要**

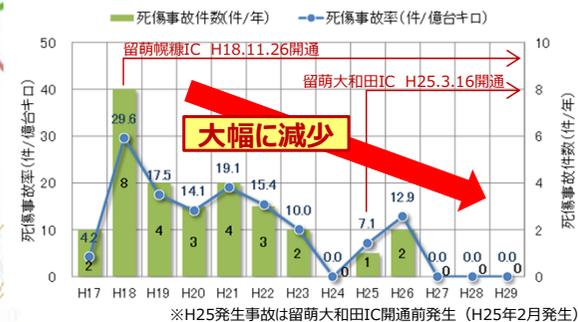
▼深川留萌自動車道並行区間における事故発生状況



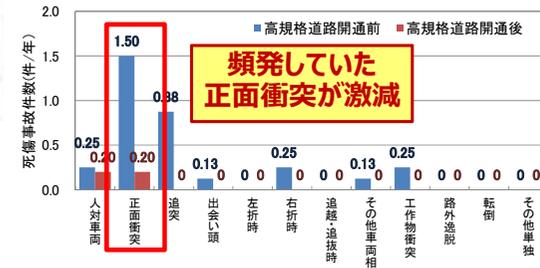
▼正面衝突の事故内容内訳



▼並行現道の死傷事故率推移



▼並行現道の事故類型別事故件数比較



並行現道の死傷事故件数  
開通前: 27件(3.4件/年)  
開通後: 2件(0.4件/年)

※イタルデータ (H17-H29)  
開通前: H17.1.1~H25.3.15 (約8年) ※日交通量: トラフィックカウンターを用いた平均交通量  
開通後: H25.3.16~H29.12.31 (約5年) ※現道区間の日交通量は、各観測値からの推定値

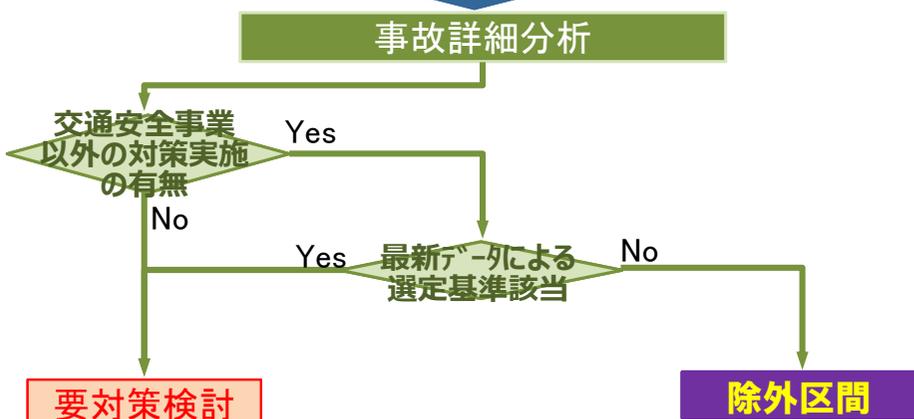
4. 事故危険区間の新たなフォローアップ手法の構築について

2. 交通安全事業以外で対策を行った区間のフォローアップ手法の構築②

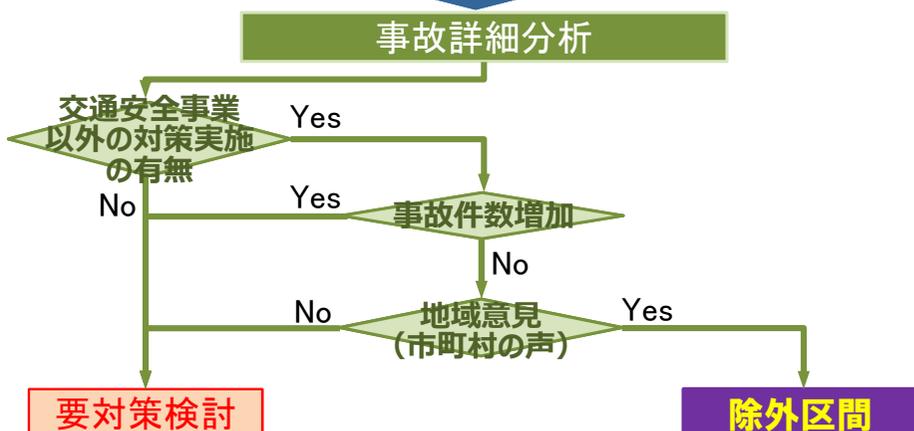
▶ 事故危険区間の選定以降、並行して高規格幹線道路が開通した場合など、**交通安全事業以外の対策が実施された区間を対象**に、事故・急ブレーキ発生状況や地域の声を踏まえ、「**除外区間**」の判定を含めた評価が可能なフォローアップ手法を構築【平成31年度以降、必要に応じて実施】

▼交通安全事業以外で対策を行った区間の対応フロー（案）

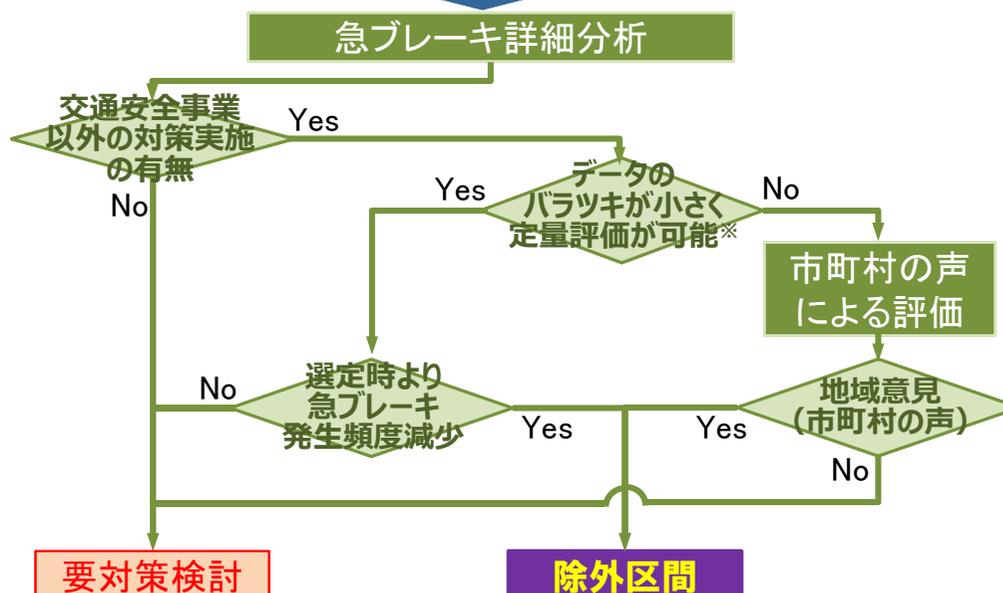
「事故データ」に基づく選定区間（交通安全事業未着手）



「地域の声」に基づく選定区間（交通安全事業未着手）



「ヒヤリハットデータ」に基づく選定区間（交通安全事業未着手）



※ 区間別の対策前急ブレーキ発生頻度から、個別に統計的判断を実施

交通安全事業以外の対策（例）

- 周辺道路整備（高規格幹線道路、街路事業等）
- ヒヤリハットマップ作成等の地域によるソフト対策の実施 等



第12回北海道交通事故対策検討委員会

報告

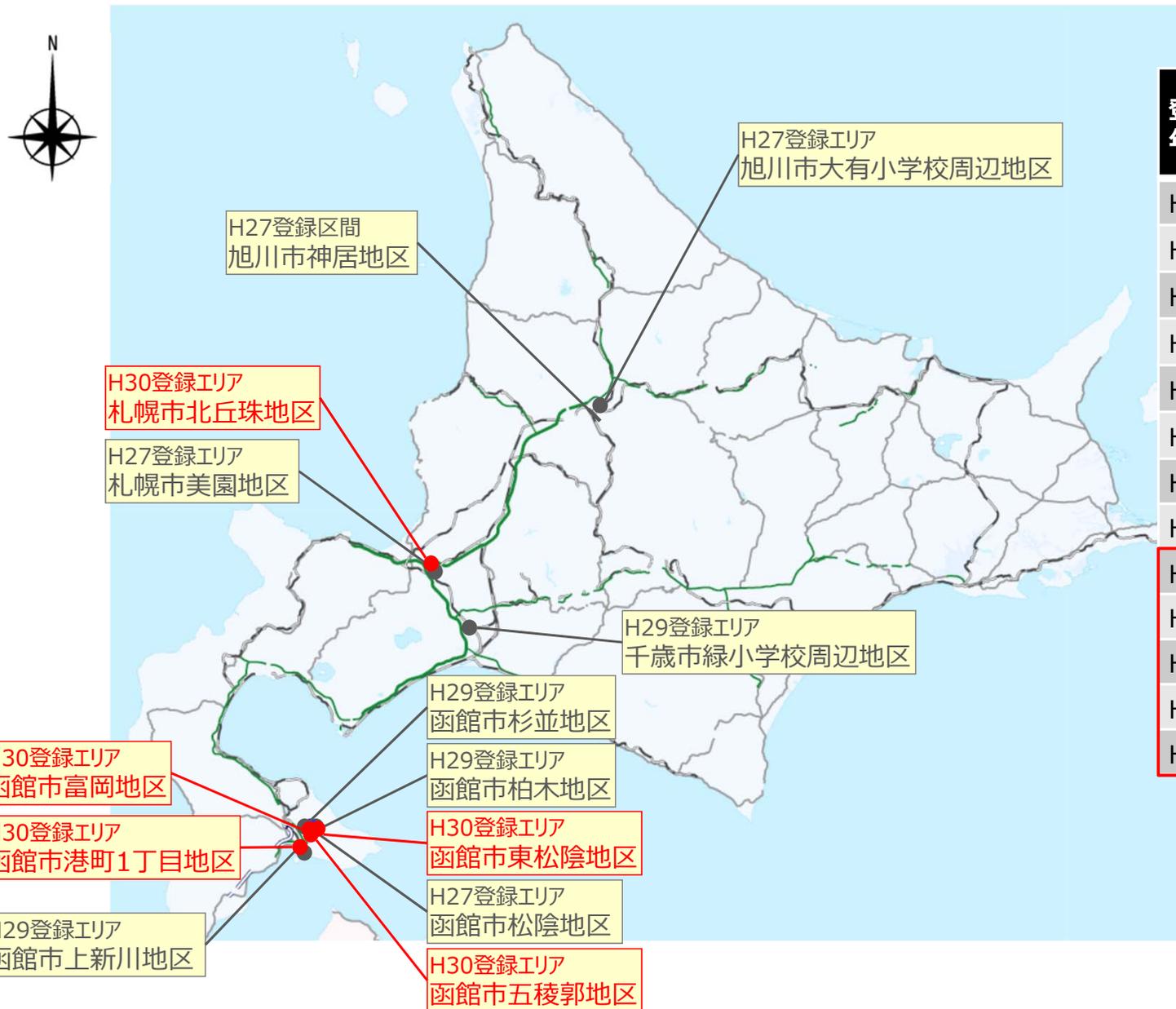
## 5. 生活道路の対策エリアの検討状況について

---

5. 生活道路の対策エリアの検討状況について

1. 生活道路の対策エリアの登録状況

➤ これまで登録された対策エリアは、札幌市2エリア、千歳市1エリア、函館市8エリア、旭川市2エリアの計13エリア



《エリア登録箇所の対策前事故件数》

登録年度	エリア名	集計期間	登録前事故件数(件/年)
H27	札幌市美園地区	H24～H26	12.0
H27	函館市松陰地区	H24～H26	4.3
H27	旭川市大有小学校周辺地区	H24～H26	1.3
H27	旭川市神居地区	H24～H26	0.0
H29	函館市杉並地区	H24～H28	2.8
H29	函館市柏木地区	H24～H28	0.6
H29	函館市上新川地区	H24～H28	0.8
H29	千歳市緑小学校周辺地区	H24～H28	1.2
H30	札幌市北丘珠地区	H24～H28	2.0
H30	函館市五稜郭地区	H24～H28	1.6
H30	函館市港町1丁目地区	H24～H28	4.4
H30	函館市東松陰地区	H24～H28	1.2
H30	函館市富岡地区	H24～H28	9.6

資料：H24-28交通事故・生活道路統合データ(ITARDA)

5. 生活道路の対策エリアの検討状況について

2. 平成27年度登録エリアの検討状況

- ▶ 平成27年度登録エリアでは、札幌市美園地区、函館市松陰地区の対策が完了
- ▶ 旭川市大有小学校周辺地区及び神居地区については、対策実施に向け現地診断、対策検討等を実施

赤字：平成30年度の実施内容

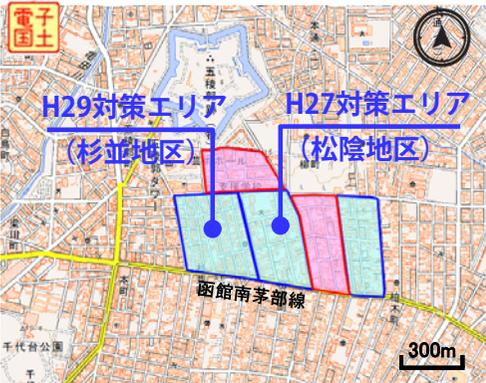
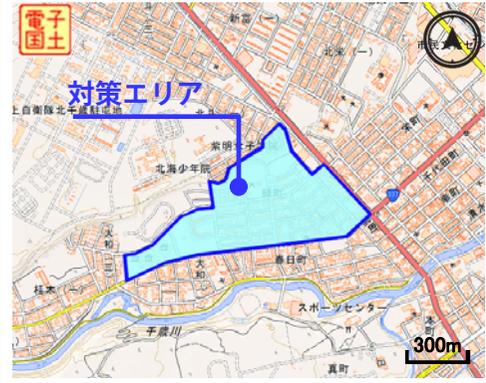
	札幌市美園地区	函館市松陰地区	旭川市大有小学校周辺地区	旭川市神居地区																
対策エリア概要																				
	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.43km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H27.10.11</td> </tr> </table>	エリア面積	0.43km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H27.10.11	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.10km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H28.10.28</td> </tr> </table>	エリア面積	0.10km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H28.10.28	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.10km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H25.11.28</td> </tr> </table>	エリア面積	0.10km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H25.11.28	<table border="1"> <tr> <td>エリア延長</td> <td>0.25km</td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>—</td> </tr> </table>	エリア延長	0.25km	ゾーン30指定	—
エリア面積	0.43km <sup>2</sup>																			
ゾーン30指定	H27.10.11																			
エリア面積	0.10km <sup>2</sup>																			
ゾーン30指定	H28.10.28																			
エリア面積	0.10km <sup>2</sup>																			
ゾーン30指定	H25.11.28																			
エリア延長	0.25km																			
ゾーン30指定	—																			
これまでの実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術的助言の要請（札幌市⇒事故委員会）</li> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒札幌市）</li> <li>● 対策検討（札幌市）</li> <li>● 対策工実施（H28年5月～12月ならびにH29年9月～12月、札幌市）</li> <li>● 対策効果検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術的助言の要請（函館市⇒事故委員会）</li> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工（案）検討結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策検討（函館市）</li> <li>● 対策工実施（H28年9月30日、函館市）</li> <li>● ゾーン30指定（H28年10月28日、道警）</li> <li>● 対策効果検証結果の提供（開発局⇒函館市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術的助言の要請（旭川市⇒事故委員会）</li> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒旭川市）</li> <li>● 対策検討に向けた事務レベル会議実施（H28年11月2日）</li> <li>● 現地診断（H29年11月6日～7日）</li> <li>● 有識者による現地診断（H29年12月25日）</li> <li>● 対策検討（旭川市）</li> <li>● 対策工実施（H30年7月）</li> <li>● 対策完了（H31年10月予定）</li> <li>● 対策効果検証（H31年12月予定）</li> </ul>																	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策効果検証（現地診断、追加対策検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策工実施</li> <li>● 対策効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>																	

5. 生活道路の対策エリアの検討状況について

### 3. 平成29年度登録エリアの検討状況

- ▶ 平成29年度登録エリアでは、函館市杉並地区、柏木地区、上新川地区の対策が完了
- ▶ 千歳市緑小学校周辺地区については、対策実施に向け対策計画を策定中

赤字：平成30年度の実施内容

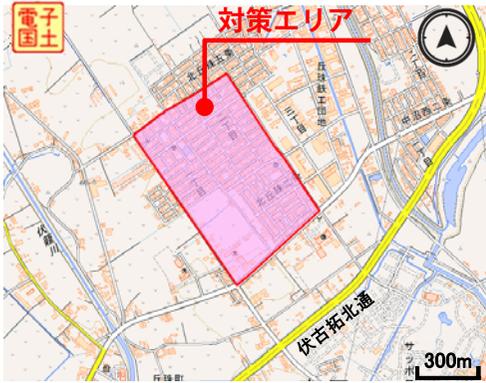
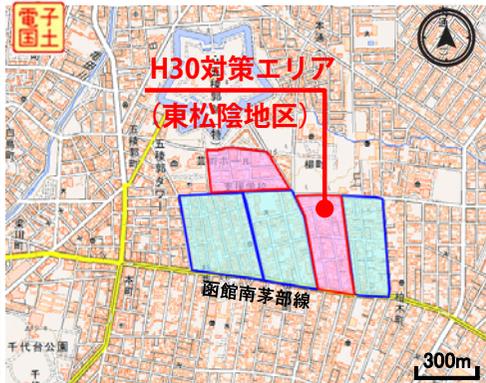
	函館市杉並地区	函館市柏木地区	函館市上新川地区	千歳市緑小学校周辺地区																
対策エリア概要	 <table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.12km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H29.10.25</td> </tr> </table>	エリア面積	0.12km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H29.10.25	 <table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.08km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H30.10.24</td> </tr> </table>	エリア面積	0.08km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H30.10.24	 <table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.10km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>①H29.10.25 ②H30.10.24</td> </tr> </table>	エリア面積	0.10km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	①H29.10.25 ②H30.10.24	 <table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.33km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H29.9.25</td> </tr> </table>	エリア面積	0.33km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H29.9.25
エリア面積	0.12km <sup>2</sup>																			
ゾーン30指定	H29.10.25																			
エリア面積	0.08km <sup>2</sup>																			
ゾーン30指定	H30.10.24																			
エリア面積	0.10km <sup>2</sup>																			
ゾーン30指定	①H29.10.25 ②H30.10.24																			
エリア面積	0.33km <sup>2</sup>																			
ゾーン30指定	H29.9.25																			
これまでの実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工（案）検討結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工実施（H29年10月～11月、函館市）</li> <li>● ゾーン30指定（H29年10月25日、道警）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工（案）検討結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工実施（H30年10月～11月、函館市）</li> <li>● ゾーン30指定（H30年10月24日、道警）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工（案）検討結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工実施（①H29年10月～11月 ②H30年10月～11月、函館市）</li> <li>● ゾーン30指定（①H29年10月25日 ②H30年10月24日、道警）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 千歳市において対策計画を策定中</li> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒千歳市）</li> <li>● 車両の速度抑制対策に関する情報提供（開発局⇒千歳市）</li> </ul>																
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策実施</li> <li>● 効果検証</li> </ul>																

5. 生活道路の対策エリアの検討状況について

4. 平成30年度登録エリアの検討状況

▶ 平成30年度登録エリアでは、5エリア全て平成31年度以降の対策実施に向けて対策を検討中

赤字：平成30年度の実施内容

	札幌市北丘珠地区	函館市五稜郭地区	函館市港町1丁目地区	函館市東松陰地区															
対策エリア概要																			
	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.45km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H31予定</td> </tr> </table>	エリア面積	0.45km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H31予定	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.10km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H27.9.16</td> </tr> </table>	エリア面積	0.10km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H27.9.16	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.24km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H27.9.16</td> </tr> </table>	エリア面積	0.24km <sup>2</sup>	ゾーン30指定	H27.9.16	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.10km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>H28.9.28</td> </tr> </table>	エリア面積	0.10km <sup>2</sup>	ゾーン30指定
エリア面積	0.45km <sup>2</sup>																		
ゾーン30指定	H31予定																		
エリア面積	0.10km <sup>2</sup>																		
ゾーン30指定	H27.9.16																		
エリア面積	0.24km <sup>2</sup>																		
ゾーン30指定	H27.9.16																		
エリア面積	0.10km <sup>2</sup>																		
ゾーン30指定	H28.9.28																		
これまでの実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒札幌市）</li> <li>● 第1回地元説明会実施（H31年1月25日）</li> <li>● 対策検討（札幌市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゾーン30指定（H27年9月16日、道警）</li> <li>● 対策工実施（H27年10月～11月、函館市）</li> <li>● 整備効果検証（H31年3月末函館市へ提供予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゾーン30指定（H27年9月16日、道警）</li> <li>● 対策工実施（H27年10月～11月、函館市）</li> <li>● 整備効果検証（H31年3月末函館市へ提供予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工（案）検討結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工実施（H28年9月～10月、函館市）</li> <li>● ゾーン30指定（H28年9月28日、道警）</li> <li>● 整備効果検証（H31年3月末函館市へ提供予定）</li> </ul>															
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策実施</li> <li>● 効果検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>															

## 4. 平成30年度登録エリアの検討状況

▶ 平成30年度登録エリアでは、5エリア全て平成31年度以降の対策実施に向けて対策を検討中

函館市富岡地区				
対策エリア概要				
	<table border="1"> <tr> <td>エリア面積</td> <td>0.52km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ゾーン30指定</td> <td>—</td> </tr> </table>	エリア面積	0.52km <sup>2</sup>	ゾーン30指定
エリア面積	0.52km <sup>2</sup>			
ゾーン30指定	—			
これまでの実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 函館市において対策計画を策定中</li> <li>● 対策エリア分析結果の提供（開発局⇒函館市）</li> <li>● 対策工（案）検討結果の提供（開発局⇒函館市）</li> </ul>			
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策工実施</li> <li>● ゾーン30指定</li> <li>● 効果検証（データ分析、現地診断）</li> </ul>			

# 5. 登録済エリアにおける対策事例(函館市上新川地区)

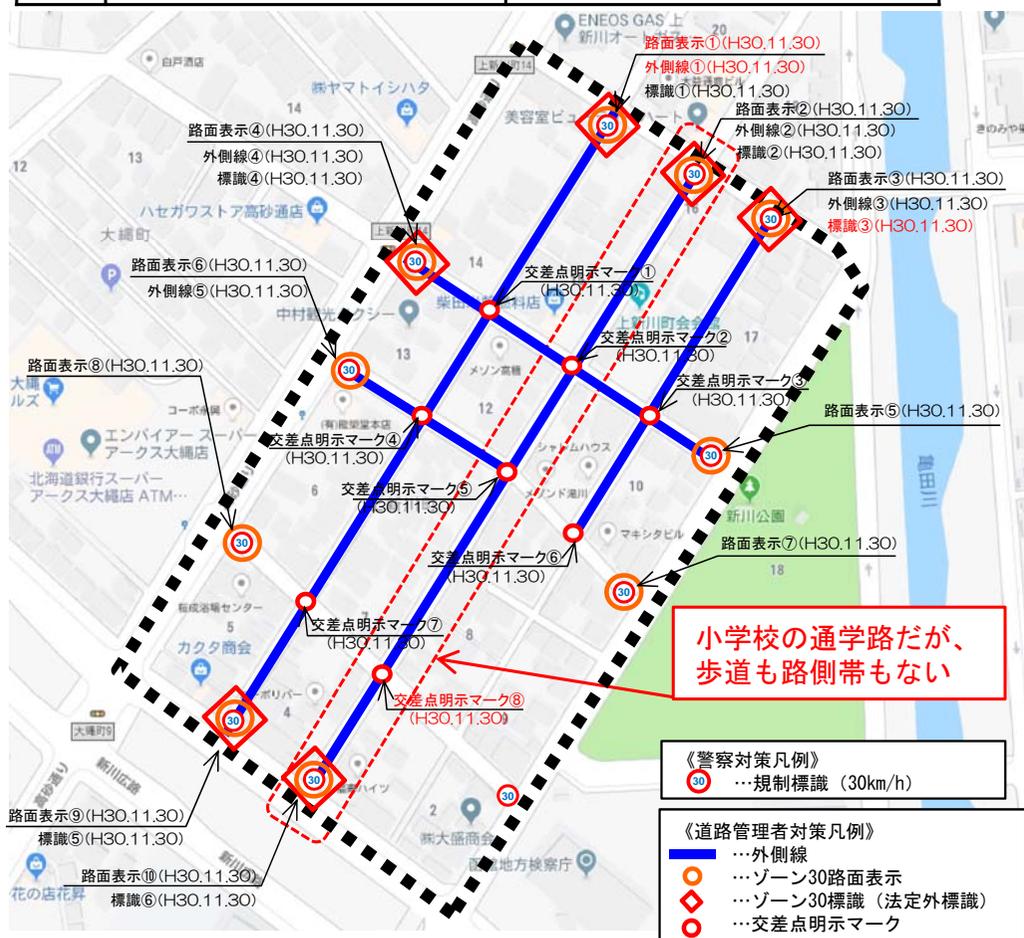
## ▼対策エリア概要

地区名	函館市上新川地区②	面積	0.10km <sup>2</sup>
ゾーン30指定年月日	H30.10.24		
主な対策工	対策年月日		
道路 管理者	ゾーン30路面表示	H30.11.30	
	外側線	H30.11.30	
	交差点明示マーク	H30.11.30	
警察	規制標識 (30km/h)	H30.10.24	

### ○背景・課題

当該エリアは、住宅街で近隣小学校の学校指定通学路に指定されている箇所もあり、道路幅員が狭く、歩道、路側帯がないことからH30.10.24にゾーン30に指定された。

通学路の安全確保を含めた生活道路の交通安全確保を重点的に進める必要があるため、対策を実施した。



### ゾーン30標識設置



### 外側線表示・ゾーン30路面表示



### 交差点明示マーク表示



A light gray map of Hokkaido, Japan, showing its regional divisions. The map is positioned on the left side of the slide.

第12回北海道交通事故対策検討委員会

## 6. 今後の予定

---

## 第12回 委員会（本日）

- 平成30年度事故危険区間のフォローアップ（中間・最終評価）結果について審議
- 平成31年度の事故危険区間の追加選定候補区間について審議
- 事故危険区間の新たなフォローアップ手法構築について審議
- 生活道路の対策エリアの検討状況について報告



## 平成31年度委員会（平成31年8月、平成32年3月）の予定

- 事故危険区間の追加選定に関して審議
- 平成31年度事故危険区間のフォローアップ（中間・最終評価）結果について審議  
（※新たなフォローアップ手法に基づくフォローアップ結果も含む）
- 生活道路対策エリアの検討状況や登録予定エリアについて報告